第Ⅰ部　津軽・南部・下北の飢饉供養塔

関根　達人

第Ⅰ部　津軽・南部・下北地方の飢饉供養塔

①飢饉供養塔の分布と概要

本研究で、青森県内で確認した飢饉供養塔は、断定できるものだけでも128基にのぼる。既に飢饉供養塔の集成がなされている宮城県の場合、飢饉在銘碑として92基が報告されているが(註１)、本研究と同様の基準で飢饉供養塔と断定できるものに限定すると81基となる。県単位での飢饉供養塔のまとまった調査は他では行われていないが、青森県、特に津軽地方は、全国的にみても飢饉供養塔の造立が盛んな地域と言えそうである。

津軽地方では104基の飢饉供養塔が確認された(表１・２)。飢饉別にみると、元禄の飢饉(1695・96年）に関するもの２基、天明の飢饉（1783・84年）に関するもの98基、天保の飢饉（1832～38年）に関するもの４基となる。一方、南部地方では、飢饉の供養塔と断定できるもの24基、可能性があるもの22基を確認した（表３・４)。両者を併せると、元禄の飢饉に関するものが３基、寛延の飢饉（1749・50年）に関するものが２基、宝暦の飢饉（1756年）に関するものが８基、天明の飢饉に関するものが27基、天保の飢饉に関するものが６基となる。津軽地方では天明の飢饉に関連して供養塔が多数造立されるが、寛延や宝暦の飢饉の供養塔は見られず、下北・南部地方とのも認められた。

津軽地方の場合、元禄や天保の飢饉供養塔は、城下町弘前と領内随一の湊青森町に建てられた。また、天明の飢饉供養塔は、弘前や黒石を含む津軽平野の南半部に偏って分布し、津軽平野北部や陸奥湾沿岸、日本海沿岸では造立が低調である（図１・２)。下北・南部地方では、可能性のあるものを含め全供養塔の約３分の１が八戸城下町とその周辺（八戸廻）に集中し、野辺地・七戸・五戸・三戸のように奥州街道沿いの盛岡藩の代官所が置かれていた場所がこれに次ぐ（図３)。

②元禄の飢饉供養塔

津軽地方の場合、元禄の飢饉供養塔は、弘前と青森で有力町人が施主となり、施行小屋に隣接して設けられた無縁者の大規模遺体埋葬場に建てられている。このうち青森市旧蓮華寺境内(現在は三内霊園に移設）の供養塔には造立の経緯を記した比較的長い碑文があり、礫石経塚の上に建てられたことが判明する。下北・南部地方には元禄の飢饉供養塔の可能性があるものが３基あるが、いずれも断定することはできない。

②寛延の飢饉供養塔

下北・南部地方には寛延の飢饉の供養塔の可能性があるものが２基ある。八戸市岡沼地蔵有無万霊等供養塔は、碑面に飢饉との関連性を直接示す文字は見当たらないが、寛延２（1749）年から３（1750）年にかけての、いわゆる「猪飢渇」で餓死疫病死した人々を葬った無縁塚の上に建てられたと伝えられている（註２)。同じく八戸市根城隅ノ観音悪獣退散祈願碑は、「悪獣退散五穀豊饒」を祈念して建てられており、厳密な意味では飢饉の死者の供養碑と言えないが、関連資料として重要である。

③宝暦の飢饉供養塔

飢饉供養塔と断定できるものを八戸市内で１基、可能性があるものを下北・南部地方全体で７基確認した。津軽地方では宝暦の飢饉に関連するとみられる供養塔は未確認である。八戸市心月院の供養塔は、13回忌にあたる明和５（1768）年に、おなじ八戸城下の来迎寺の僧が導師となり、念仏講の人々によって建てられたものである。

④天明の飢饉供養塔

津軽地方では、天明の飢饉の後、回忌に当たる年毎に、主に町や村などの地域共同体や講が主体となって、確認したものだけでも98基もの供養塔が建てられている。その内の約8割は、自然石に短い碑文を刻んだ簡素な供養塔である。岩木山東南麓から岩木川流域では、2・3箇村、最大10箇村もの村々が共同で建てた供養塔が散見される。これらの地域は概して生産性が低く、村単独で供養塔を造立することが困難であったためと考えられる。また、岩木山東南麓、百沢街道に沿った地域には、自然石を用いて円相の下に名号と蓮華を刻んだタイプの供養塔が7基ほど集中しており、地域的特色を形成している。この地域では、前に建てられた供養塔に倣う形で、次々と供養塔の造営がなされたものと推察される。浅瀬石川流域の黒石・田舎館周辺には、黒石妙経寺の僧日宣やその指導下にあったと考えられる題目講により建てられた供養塔が6基ほど集中する。

下北・南部地方で確認された天明の飢饉に関する供養塔は、断定できないものを含め27基である。津軽地方のものに比べ、角柱形を中心に整形を施した石が多く用いられる。また、造立者（施主）は、津軽地方が専ら地域共同体や講を主体とするのに対して、個人あるいは有志連名が目立つ。野辺地町西光寺の供養塔は、個人墓の裏面を供養塔として再利用しており、1つの供養塔で天明飢饉、天保飢饉、海難犠牲者それぞれの供養を兼ねる。八戸市の対泉院門前にある餓死供養塔（県史跡）は、裏面に対泉院周辺の飢饉の状況や当時の食糧相場が記されている。同じく対泉院門前の戒壇石（県史跡）の裏面にも、天明3（1783）年の対泉院領の飢饉の惨状が刻まれている。この戒壇石は、餓死供養塔が造立された天明4（1784）年の翌年、同じ人物により建てられたものである。三戸町の千人塚（県史跡）は、天明の飢饉の際に行き倒れになった人々を憐れんだ林泉寺檀頭の栗谷川藤右衛門が、貧民に銭を与えて千人分の頭を買い集め、塚を築き葬ったと伝えられる（註3）。千人塚の天明飢饉供養塔は、造立の詳細な経緯を知ることができる、大変貴重な事例である。

⑤天保の飢饉供養塔

津軽地方では、4基中2基が弘前城下町、1基が青森町にある。下北・南部地方では天保の飢饉供養塔は、断定できないものを含め、6基中3基が八戸城下町とその周辺に分布する他、かつて湊町として栄えた野辺地にも1基造立がみられた。南部、津軽どちらも、城下町や湊町といった都市部に飢饉供養塔が造立される点が共通する。津軽地方では、嘉永6（1853）年に建てられた弘前和徳専修寺の供養塔（市指定文化財）が注目される。高さ3.36m、幅2.8m、厚1.8mにも及ぶこの巨大な供養塔は、弘前の大商人4名が施主となり、地元の若者講と3名の人物を世話人として、弘前周辺の40箇村6390名の手伝いにより造立された。弘前を中心に南北10㎞、東西18㎞もの範囲から、この供養塔の造営に参加するため人々が集まっている。それはいわば津軽地方における天保飢饉の供養を一手に担わされたモニュメントであり、人々はその造営に参加することにより、あえて村や講単位で供養塔を建てる必要がなくなったと考えられる。

註1　三原良吉 1962「飢饉金石文」『宮城縣史』22（災害）223～294頁
註2　小井田幸哉 1956「餓死供養塔の巡拝」『奥南史苑』1　2～11頁
註3　三戸町史編纂委員会 1997『三戸町史』上巻

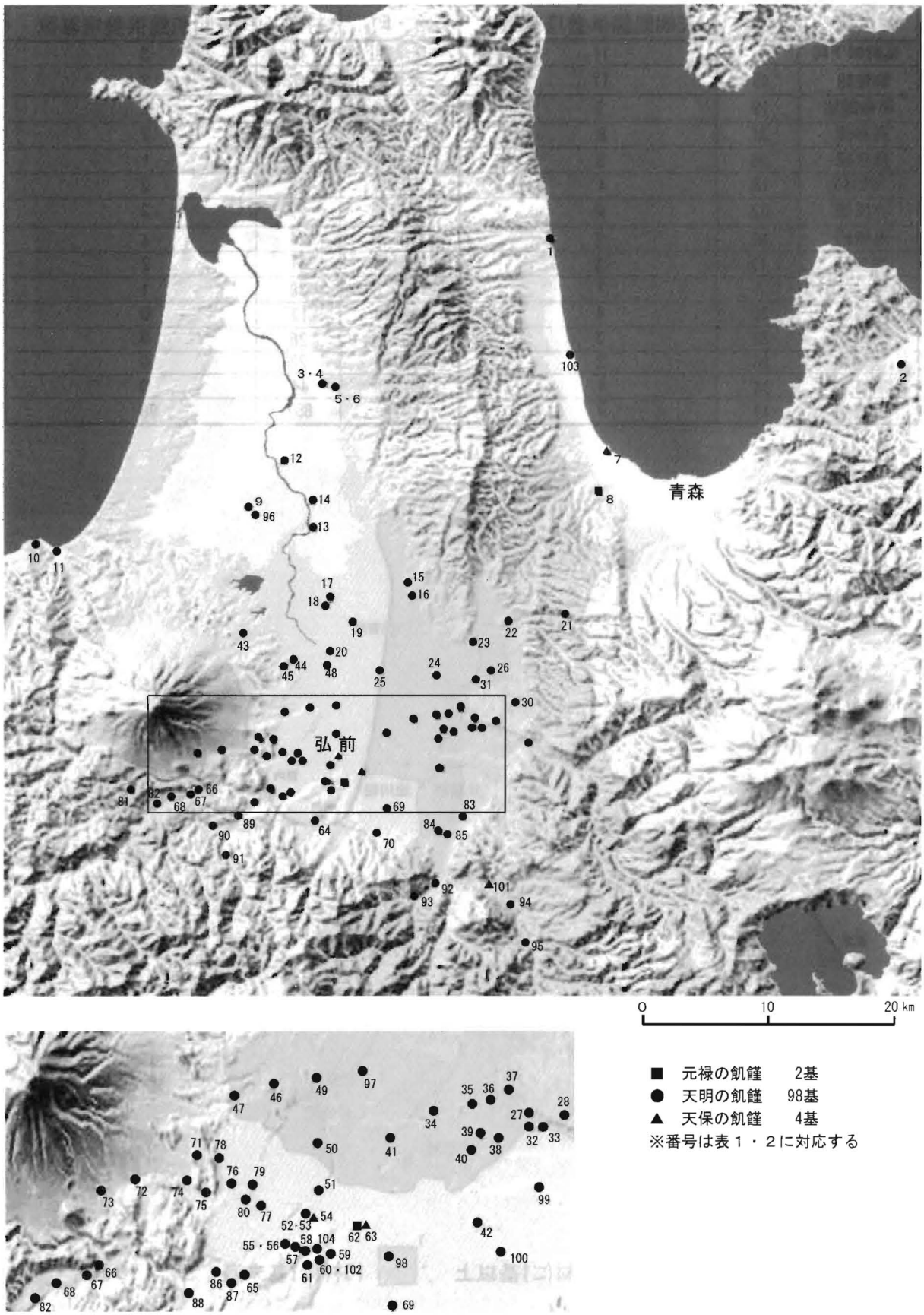


図1　津軽地方の飢饉供養塔分布

組・町	村数	天明飢饉供養塔基数	組・町	村数	天明飢饉供養塔基数
弘前城下町	ー	11	尾崎組	17	3
駒越組	48	17	赤石組	65	2
田舎館組	19	7	広須組・木作新田	140	2
高杉組	31	8	大光寺組	17	2
藤代組	26	3	常盤組	19	1
和徳組	18	4	広田組	28	2
赤田組	32	4	飯詰組	27	2
藤崎組	16	3	金木組	24	4
猿賀組	19	3	後潟組	41	2
俵元新田	8	1	黒石領（平内）	38	1
大鰐組	26	4	柏木組	17	0
浪岡組	22	3	油川組	26	0
増館組	16	2	浦町組	22	0
黒石領	34	4	横内組	44	0
堀越組	17	3	合計	857	98

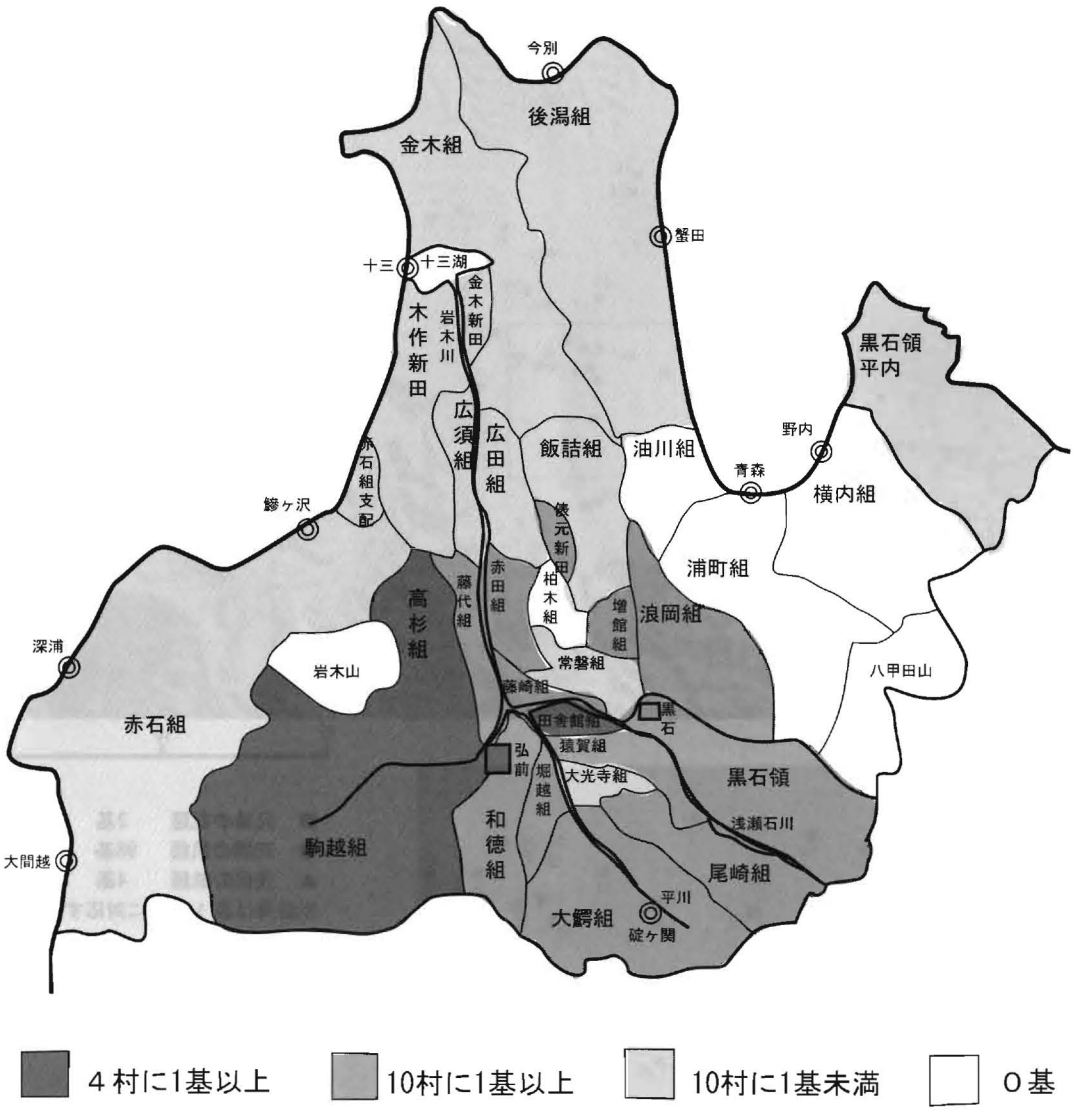


図2　津軽領内における天明の飢饉供養塔の分布濃度（組別）

表１　津軽の飢饉供養塔一覧（１）

①元禄の飢饉

No	名称	所在地	藩政区画	造立年月日	造立者	備考
8	旧蓮華寺(現三内霊園)	原位置　青森市本町蓮華寺	青森町	1707年7月13日	施主豊田宗治　勧進蓮華寺八世日考	自然石　題目　経塚
62	専修寺1	弘前市東和徳町8-4	和徳組和徳村	1717年8月27日	個人7名	笠塔婆型　題目

②天明の飢饉

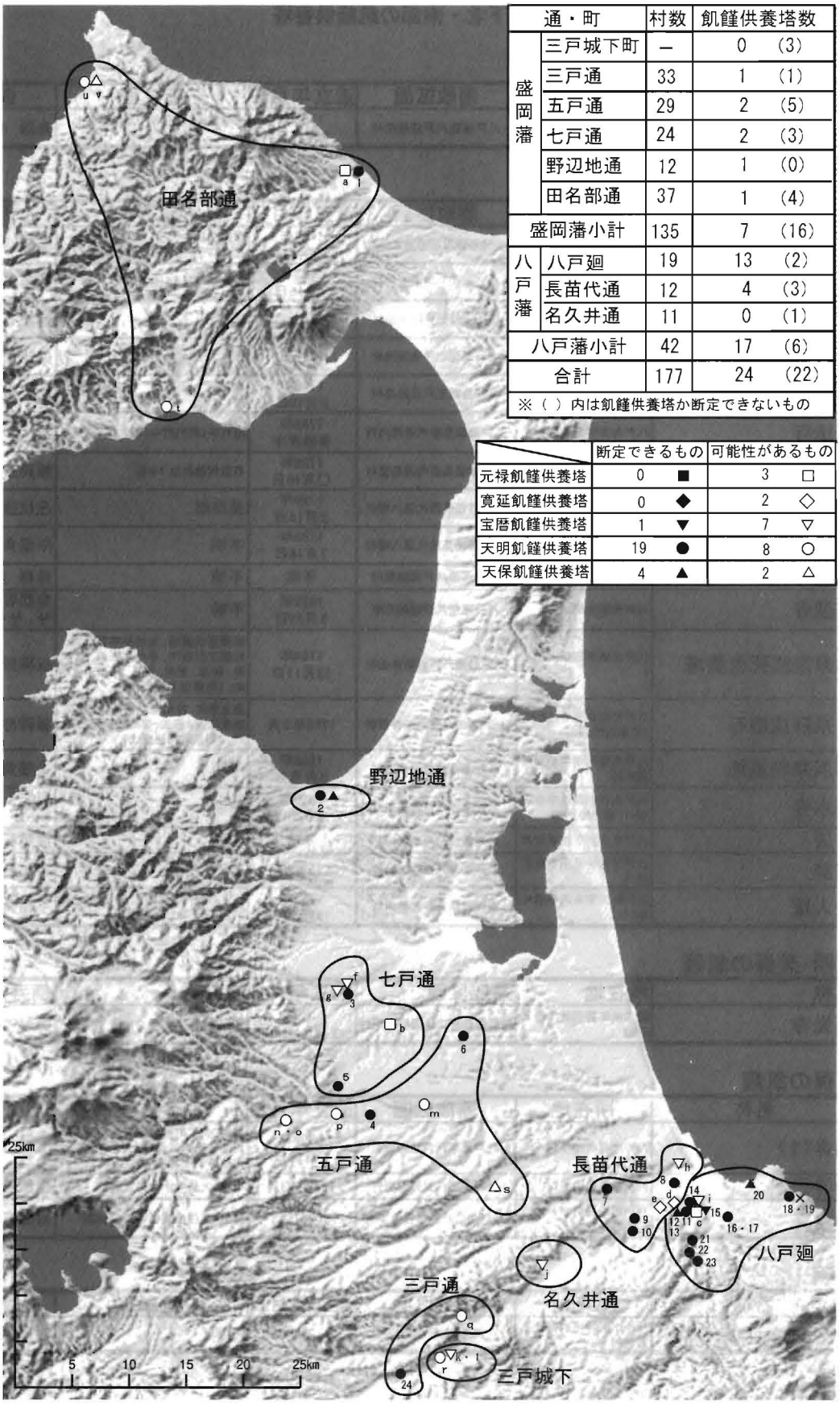
No	名称	所在地	藩政区画	造立年月日	造立者	備考
1	楽宝寺	蓬田村広瀬坂本870	後潟組広瀬村	1828年4月15日	伊八（世話人）　貞安(勧進僧)	自然石　ｷﾘｰｸ
2	日光院墓地前	平内町小湊赤明堂26	黒石領小湊村	1787年8月	東福寺11代住職	丘状頭角柱　経塚
3	新富町1	金木町金木新富町	金木組金木村	1831年	南臺寺	自然石
4	新富町2	金木町金木新富町	金木組金木村	1831年7月	不明	自然石
5	金木駅前1	金木町金木駅ホーム南東	金木組金木村	1831年	南臺寺	自然石
6	金木駅前2	金木町金木駅ホーム南東	金木組金木村	1791年6月1日	不明	自然石　円相
9	田町	木造町田町共同墓地内	広須組木作村	不明	不明	自然石
10	釣町沢	鰺ヶ沢町釣町沢	赤石組釣町村	1809年6月15日	吉田源右衛門(三国屋)	自然石　ｷﾘｰｸ
11	舞戸地蔵堂	鰺ヶ沢町舞戸袋町	赤石組舞戸村	1832年9月1日	不明	丘状頭角柱　名号
12	鶴ヶ岡	五所川原市鶴ヶ岡川袋共同墓地内	広田組鶴ヶ岡村	1832年4月	講中	自然石　円相　名号
13	湊	五所川原市湊船越共同墓地内	広田組湊村	1816年2月	湊村･半田村･姥萢村	自然石　円相　彼岸中日
14	法永寺	五所川原市末広町	依元新田組末広村	1805年	法輪山妙経寺住職日宣	自然石　題目　「村内安全」
15	持子沢	五所川原市持子沢笠野前共同墓地内	飯詰組持籠沢村	1831年3月	持籠沢村講中　善心坊(勧進)	丘状頭角柱　「百九拾六人」
16	高野	五所川原市高野柳田	飯詰組高野村	1815年7月	高野村中	尖頭角柱
17	善龍庵	鶴田町胡桃館　善龍庵地蔵堂	赤田組胡桃館村	1832年3月	胡桃館村中	自然石　念仏塔
18	境	鶴田町境宮内共同墓地内	赤田組境村	1832年2月	境村･前萢村･五條野目村	自然石　名号　陽刻地蔵立像
19	五幾形	板柳町五幾形飯田共同墓地	赤田組五幾形村	1832年2月	五幾形村中	自然石　名号
20	龍淵寺	板柳町板柳土井	赤田組板屋野木村	1806年2月3日	板屋野木村中	自然石
21	王余魚沢	浪岡町王余魚沢共同墓地内	浪岡組王余魚沢村	1824年8月	王余沢村　　個人13名	自然石
22	五本松	浪岡町五本松松木共同墓地内	浪岡組五本松村	1830年	五本松村中	自然石　久右衛門･久助先祖供養
23	薬王院	浪岡町女鹿沢	増館組女鹿沢村	1790年3月	寛左衛門	自然石　円相　蓮華
24	増館	浪岡町増館共同墓地内	増館組増館村	1832年4月22日	増館村中　　個人6名	丘状頭共柱　名号
25	智圓寺	藤崎町中野目早稲田東115	常盤組中野目村	1831年2月21日	中野目村･五林西村中	自然石
26	飛内	黒石市飛内共同墓地内	黒石領飛内村	1806年4月4日	飛内村中	自然石
27	黒石	黒石市黒石133西側	黒石城下元町	1816年7月17日	元町講中　　個人6名	自然石　題目
28	来迎寺	黒石市京町寺町11	黒石城下寺町	不明	来迎寺十九世良得	自然石　ｷﾘｰｸ
29	石名坂	黒石市石名坂村ヨリ西共同墓地内	黒石領石名坂村	1796年7月	佐藤三郎右衛門	自然石
30	東家墓地	黒石市上十川北原	浪岡組上十川村	1816年2月	上十川村中	自然石を一部加工　円相
31	西馬場尻	黒石市西馬場尻稲村共同墓地内	田舎館組西馬場尻村	1806年2月2日	種市久六(世話人)	自然石　六十六部廻国納経塔
32	追子野木宮崎	黒石市追子野木2-213-1	猿賀組追子野木村	1809年11月	黒石妙経寺日宣	自然石　題目　道標
33	追子野木柳川	黒石市追子野木2共同墓地内	猿賀組追子野木村	1806年3月	追子野木村題目講中18名	自然石　題目
34	川部	田舎館村川部富岡	藤崎組川部村	1806年4月8日	個人12名	自然石　題目
35	前田屋敷	田舎館村前田屋敷南一本柳	藤崎組前田屋敷村	1796年2月16日	前田屋敷村中	自然石　ｷﾘｰｸ･ﾊｳ･ｻ
36	堂野前	田舎館村堂野前種井共同墓地内	田舎館組堂野前村	1806年4月5日	不明	自然石
37	堂野前新町	田舎館村堂野前種井新町公民館前	田舎館組堂野前村	1806年6月23日	堂野前村中	自然石
38	垂柳	田舎館村垂柳丁伝共同墓地	田舎館組垂柳村	1809年2月	不明	自然石　円相
39	八反田	田舎館村八反田一本木共同墓地内	田舎館組八反田村	1831年3月13日	個人3名	自然石　日蓮五五〇遠忌碑
40	畑中	田舎館村畑中上野畑中会館	田舎館組畑中村	1831年3月	畑中講中	自然石　日蓮五五〇遠忌碑
41	豊蒔	田舎館村豊蒔南前田共同墓地内	田舎館組豊蒔村	1786年7月	不明	自然石
42	長田	尾上町長田元村共同墓地内	大光寺組長田村	1832年4月15日	長田村中	自然石
43	大石神社(下宮)	弘前市大森	高杉組大森村	1806年3月17日	大森村･貝沢村中　個人13名	自然石
44	楢木	弘前市楢木共同墓地内	高杉組楢野木村	1785年2月7日	小山内氏	丘状頭角柱
45	鬼沢龍眺庵	弘前市鬼沢	高杉組鬼沢村	1789年7月15日	不明	自然石
46	感應寺	弘前市独弧山辺101	高杉組独弧村	不明	不明	自然石　題目
47	宮館	弘前市宮館房崎共同墓地内	高杉組宮館村	1833年5月10日	中別所村　長兵衛	自然石　「先祖代々･･･」
48	青女子	弘前市青女子桜刈共同墓地	藤代組青女子村	1830年	青女子村講中	自然石　講中
49	三世寺	弘前市三世寺鴨瀬共同墓地	藤代組三世寺村	1832年4月8日	不明	自然石　名号
50	船水	弘前市船水勝浦	藤代組船水村	1832年	船水村中	自然石　円相
51	浜の町延命地蔵尊	弘前市浜の町東1丁目	弘前城下浜ノ町	1832年4月8日	不明	自然石　円相　名号　蓮華
52	専求院1	弘前市新町249	弘前城下新町	1790年4月8日	江戸町講中　個人16名	自然石　蓮華
53	専求院2	弘前市新町249	弘前城下新町	1830年3月15日	連中	自然石　円相
55	長勝寺1	弘前市西茂森町1-23-8	弘前城下茂森町	1832日 6月16日	長勝寺三十三世祖山仙宗	丘状頭角柱
56	長勝寺2	弘前市西茂森町1-23-8	弘前城下茂森町	1787年6月6日	長勝寺二十五世無外了禅	丘状頭角柱
57	山観普門院1	弘前市西茂森町2-17-4	弘前城下茂森町	1785年5月18日	派町　個人13名	自然石　臼八鳥
58	山観普門院2	弘前市西茂森町2-17-4	弘前城下茂森町	1815年7月	願主三浦勘兵衛他個人多数	自然石　蓮華
59	最勝院(旧大円寺)	弘前市銅屋町63	弘前城下銅屋町	1807年4月8日	施主桶屋町工藤仁八　白沢勘右衛門	角柱型　ｱｰﾝｸ

表２　津軽の飢饉供養塔一覧（２）

No	名称	所在地	藩政区画	造立年月日	造立者	備考
60	本行寺(1)	弘前市新寺町92	弘前城下新寺町	1831年5月13日	十三日構中ならびに亀岡佐左衛門	丘状頭角柱
61	樹木	弘前市樹木1丁目	和徳組樹木村	1820年8月26日	樹木村中 ，	自然石　円相　蓮華
64	小沢	弘前市小沢広野共同墓地内	和徳組小沢村	1816年2月15日	小沢村沢目中	自然石　円相　蓮華　線刻地蔵二体
65	下湯口	弘前市下湯口共同墓地内	駒越組下湯口村	1795年11月	悪戸村･下湯口村･唐内坂村中個人9名	自然石　円相
66	国吉	弘前市国吉中川原4	駒越組国吉村	1796年2月15日	国吉村･黒土村	自然石　ｷﾘｰｸ
67	桜庭	弘前市桜庭　西沢製鉄所裏	駒越組桜庭村	1796年3月3日	不明	自然石　円相
68	中畑正林庵	弘前市東目屋中畑	駒越組中畑村	1796年3月3日	佐山氏･藤川村･番館村･川原平･村市村･太秋村･田代村･中畑邑･国吉邑･桜庭村･中野村	自然石　ｷﾘｰｸ　蓮華
69	門外	弘前市門外4丁目共同墓地	堀越組門外村	1832年	不明	角柱型
70	松木平	弘前市松木平共同墓地内	堀越組松木平村	1831年8月9日	松木平村中	丘状頭角柱
71	新岡	岩木町新岡萩流共同墓地内	駒越組新岡村	1810年5月29日	新岡村中	自然石　円相　名号　蓮華
72	高岡	岩木町高岡神馬場共同墓地	駒越組高岡村	1815年2月20日	高岡村中	丘状頭角柱　了　蓮華
73	百沢	岩木町百沢笹平共同墓地内	駒越組百沢村	1789年12月2日	百沢村･高岡村･新法師村	自然石の一部加工　了　蓮華
74	葛原	岩木町葛原大柳　葛原橋脇	駒越組葛原村	1800年2月29日	葛原村･宮地村	自然石　円相　名号　蓮華
75	宮地地蔵堂	岩木町宮地沢田	駒越組宮地村	1806年5月	宮地村　個人9名	自然石　円相　名号　蓮華
76	八幡	岩木町八幡安田	駒越組八幡村	1810年4月7日	八幡村中	自然石　円相　名号　蓮華
77	一町田	岩木町一町田早稲田共同墓地内	駒越組一町田村	1800年2月26日	一町田村･沢山村中	自然石　円相　名号　蓮華
78	植田	岩木町植田山下127-58	高杉組植田村	1832年3月13日	植田村･細越村･愛宕村中	自然石　ｷﾘｰｸ
79	愛宕神社	岩木町高屋木宮	高杉組高屋村	1810年4月8日	高屋村中	自然石　円相　名号　蓮華
80	吉祥寺	岩木町高屋福田80-4	高杉組賀田村	1806年3月24日	賀田村	自然石　円相　名号　蓮華
81	白沢	西目屋村白沢	駒越組白沢村	1804年7月	白沢村中	自然石　円相　　ｷﾘｰｸ　名号
82	田代	西目屋村田代神田共同墓地	駒越組田代村	1796年2月15日	田代邑支配中	自然石　ｷﾘｰｸ　名号　蓮華
83	吹上	平賀町吹上高畑共同墓地内	尾崎組吹上村	1817年4月8日	若者講中	自然石　円相
84	岩館(蛇塚)	平賀町岩館	尾崎組岩館村	1832年3月	岩館村中	自然石　円相
85	原田	平賀町原田共同墓地内	尾崎組原田村	不明	三五郎	丘状頭角柱
86	野崎	相馬村黒滝一の川瀬2共同墓地内	和徳組黒滝村	1795年12月	野崎黒滝村中	自然石　ｷﾘｰｸ　蓮華
87	湯口	相馬村湯口一ノ細川共同墓地内	和徳組湯口村	1806年2月	湯口村中	自然石　ｷﾘｰｸ　蓮華
88	紙漉沢	相馬村紙漉沢相馬中学校前	駒越組紙漉沢村	1806年4月8日	紙漉沢邑中	自然石　ﾊﾞｸ　蓮華
89	坂市	相馬村坂市亀田共同墓地内	駒越組坂市村	1796年2月	坂市村	自然石　円相　蓮華
90	野田神社	相馬村藤沢	駒越組藤沢村	1808年	藤澤村中	自然石　円相　蓮華
91	藍内	相馬村藍内立石共同墓地内	駒越組藍内村	1796年3月	藍内村中	自然石　円相　名号　線刻地蔵二体
92	金龍寺	大鰐町三目内	大鰐組三目内村	不明	個人11名	自然石　円相　　名号
93	居土	大鰐町居土目屋沢共同墓地	大鰐組居土村	1856年	中島作之丞　外崎佐五兵衛	丘状頭角柱「無縁口親子三人」
94	唐牛	大鰐町唐牛戸井頭共同墓地	大鰐組唐牛村	1800年4月	唐牛村連中	自然石　ｷﾘｰｸ
95	唯称院	碇ヶ関村碇ヶ関山神堂63	大鰐組碇ヶ関村	1805年7月16日	唯称院開基者	自然石　圓光大師600年遠忌
96	実相寺	木造町木造千代町5-1	木造新田木昨村	1832年7月	川嶋傳兵衛	自然石　題目
97	藤崎新町	藤崎町藤崎横松	藤崎組藤崎村	1803年3月7日	不明	駒形
98	高田	弘前市外崎5丁目共同墓地	堀越組外崎村	1832年7月7日	外崎村･寺内村	自然石
99	善應寺	尾上町高木原富66	猿賀組高木村	1785年3月	尾上村白澤屋宇右衛門	有像笠塔婆形
100	小和森	平賀町小和森松村共同墓地	大光寺組小和森村	1815年	今井嘉右衛門	丘状頭角柱　名号
102	本行寺(2)	弘前市新寺町92	弘前城下新寺町	1832年	加賀口善	丘状頭角柱
103	興樂庵	青森市六枚橋不浪知	後潟組六枚橋村	1827年	九代目赤平和治郎	自然石
104	常源寺	弘前市西茂森町１－５－１	弘前城下茂森町	1833年	竹内榮吉	丘状頭角柱

③天保の飢饉

No	名称	所在地	藩政区画	造立年月日	造立者	備考
7	浄満寺	青森市油川浪返	油川組油川村	1859年7月11日	石施主大万　勧進浄満寺27世良快	自然石　円相
54	專求院3	弘前市新町249	弘前城下新町	1841年3月15日	下町講中 個人27名	自然石　円相　蓮華
63	專修寺2	弘前市東和徳町8-4	和徳組和徳村	1853年8月	施主個人4名　勧進僧良示	自然石　名号　発願主個人2名
101	苫木	大鰐町苫木野尻共同墓地	大鰐組苫木村	1847年3月15日	苫木村中	自然石



通・町		村数	飢饉供養塔数
盛岡藩	三戸城下町	—	0 (3)
	三戸通	33	1 (1)
	五戸通	29	2 (5)
	七戸通	24	2 (3)
	野辺地通	12	1 (0)
	田名部通	37	1 (4)
盛岡藩小計		135	7 (16)
八戸藩	八戸廻	19	13 (2)
	長苗代通	12	4 (3)
	名久井通	11	0 (1)
八戸藩小計		42	17 (6)
合計		177	24 (22)

※（ ）内は飢饉供養塔か断定できないもの

	断定できるもの	可能性があるもの
元禄飢饉供養塔	0 ■	3 □
寛延飢饉供養塔	0 ◆	2 ◇
宝暦飢饉供養塔	1 ▼	7 ▽
天明飢饉供養塔	19 ●	8 ○
天保飢饉供養塔	4 ▲	2 △

※番号・アルファベットは表３・４に対応する
×印はいつの飢饉の供養塔か判断ができないもの

図3　下北・南部地方の飢饉供養塔分布

表３　下北・南部の飢饉供養塔

①宝暦の飢饉

No	名称	所在地	藩政区画	造立年月日	造立者	備考
15	心月院	八戸市吹上一丁目6-6	八戸藩領八戸廻類家村	1768年 2月15日	念佛講中（来迎寺十九世燈誉上人）	舟形　名号

②天明の飢饉

No	名称	所在地	藩政区画	造立年月日	造立者	備考
1	本門寺	大畑町字東町2	盛岡藩領田名部通大畑村	1798年 7月15日	妙法院日省大徳、清了院日慎比丘、本門寺惣壇中、題目講中	櫛形　題目
3	青岩寺	七戸町横町7	盛岡藩領七戸通七戸村	1785年 7月15日	松坂屋喜兵衛、荘兵衛	櫛形
4	三日市	十和田湖町大字沢田字三日市54	盛岡藩領五戸通沢田村	1831年 2月吉日	儀助以下12名	自然石　名号
5	板の沢神社	十和田市大字深持字板の沢	盛岡藩領七戸通深持村	1815年 5月10日	當村（深持村）与左衛門、小三郎内、半太郎内、久助内	尖頭角柱
6	沖山共同墓地	六戸町大字折茂字沖山共同墓地内	盛岡藩領五戸通折茂村	1799年 9月10日	助左ェ門、三之助　當村（折茂村）	丘状頭角柱
7	正法寺	八戸市大字尻内町	八戸藩領長苗代通尻内村	1785年 春彼岸中	當村中（尻内村中）宗九良以下5名	丘状頭角柱 キリーク
8	石堂	八戸市石堂二丁目2-25行屋堂境内	八戸藩領長苗代通石堂村	1786年 □月16日	石堂村助八以下9名	板碑形
9	鵜対共同墓地	八戸市大字八幡字鵜対共同墓地	八戸藩領長苗代通八幡村	1796年 2月14日	長四郎	丘状頭角柱
10	明治小学校南側墓地	八戸市大字櫛引八幡	八戸藩領長苗代通八幡村	1789年 7月16日	不明	平頭角柱
11	山寺	八戸市長者山下14	八戸藩領八戸廻糠塚村	不明	不明	舟形　円相
14	来迎寺	八戸市朔日町24	八戸藩領八戸廻朔日町	1820年 5月25日	不明	自然石　キリーク サ　サク
16	対泉院餓死供養塔	八戸市新井田寺ノ上13-1	八戸藩領八戸廻新井田村	1784年 12月11日	松橋孫助備端、松橋孫四良準甫、松橋又右衛門、中村庄三良、新井田、田迎、岩渕、塩入、十日市乙名中、（対泉院九世虎山）	板碑形　円相
17	対泉院戒壇石	八戸市新井田寺ノ上13-1対泉院門前	八戸藩領八戸廻新井田村	1785年3月	造立施主：松橋孫助備端、松橋孫四良準甫、石工：信州飯嶋増右衛門、（対泉院九世虎山）	板碑形
19	白浜共同墓地	八戸市鮫町字中崎共同墓地内	八戸藩領八戸廻浜通村	1808年 5月吉日	不明	尖頭角柱
21	清水寺	八戸市大字是川字中居18-1　清水寺門前	八戸藩領八戸廻是川村	1816年 2月20日	不明	自然石 キャ･カ･ラ･バ゛･ア
22	差波	八戸市大字是川字差波	八戸藩領八戸廻是川村	不明	不明	自然石　円相
23	館前	八戸市大字是川字館前36-1	八戸藩領八戸廻是川村	1832年	不明	自然石　ア
24	千人塚	三戸町大字斗内字清水田11-3	盛岡藩領三戸通斗内村	1785年 10月25日	施主：栗谷川藤衛門、石切：惣右衛門、（林泉寺七世胤龍）	平頭角柱

③天明･天保の飢饉

No	名称	所在地	藩政区画	造立年月日	造立者	備考
2	西光寺	野辺地町野辺地字寺ノ沢90	盛岡藩領野辺地通野辺地村	不明 （天保10年以降）	不明	櫛形　名号

④天保の飢饉

No	名称	所在地	藩政区画	造立年月日	造立者	備考
12	山寺（1）	八戸市長者山下14	八戸藩領八戸廻糠塚村	1862年 2月19日	施主：大工町植村忠三良、（導師：天聖寺十六世善誉上人、助導師：大慈寺十七世宣隆大和尚）	舟形　キリーク 名号
13	山寺（2）	八戸市長者山下14	八戸藩領八戸廻糠塚村	1866年3月	不明（大慈寺十七世宣隆）	自然石　円相
20	砂森	八戸市白銀町字砂森砂森石碑堂内	八戸藩領八戸廻白金浜村	1846年 □月13日	當村中（白金浜村中）、関川屋	自然石　題目

⑤不明

No	名称	所在地	藩政区画	造立年月日	造立者	備考
18	白浜共同墓地餓死供養塔	八戸市鮫町字中崎共同墓地内	八戸藩領八戸廻浜通村	不明	不明	駒形変形

表４　飢饉供養塔の可能性のある下北・南部地方のその他の石碑

No	名称	所在地	藩政区画	形状	高・幅・厚(cm)	造立年月日	造立者など	備考
a	本門寺題目石	むつ市大畑町東町2	盛岡藩領田名部通大畑村	櫛形	134～・36・24	1734年7月28日	不明	元禄の飢饉の供養塔の可能性
b	法蓮寺有無両縁塔	十和田市洞内字前田88	盛岡藩領七戸通洞内村	尖頭角柱形	107・59・47	1733年7月3日	不明	元禄の飢饉の供養塔の可能性
c	山寺名号石	八戸市長者山下14	八戸藩領八戸廻鞴塚村	舟形	354・88・70	1698年4月23日	願主：順誉念故比丘以下20名　月盃 施主：7町合計74名 導師：大泉寺九世稟蓮社誠誉上人	元禄の飢饉の供養塔の可能性
d	岡沼地蔵有無万霊供養塔	八戸市根城4丁目	八戸藩領長苗代通根城村	自然石	166・61・43	1750年3月16日	十三日町　泉沢茂兵衛	寛延の飢饉の供養塔の可能性
e	根城隅ノ観音悪獣退散祈願碑	八戸市根城8丁目	八戸藩領長苗代通根城村	祠状	162・45・45	1751年陰暦10月吉辰日	願主：村中(根城村中)撰文：禅源寺四世大江東義	寛延の飢饉の供養塔の可能性
f	天王神社地蔵供養塔	七戸町天王12-1	盛岡藩領七戸通七戸村	尖頭角柱形	152・33・33	1764年1月24日	中嶋弥五左衛門・福田惣左衛門以下14名	宝暦の飢饉の供養塔の可能性
g	瑞龍寺戒壇石	七戸町後川原61	盛岡藩領七戸通七戸村	平頭角柱形	193・30・29	1761年7月13日	勧進僧：瑞龍寺十三世悟山	宝暦の飢饉の7回忌の供養塔の可能性
h	日計地蔵	八戸市河原木字日計30-1	八戸藩領長苗代通河原木村	有像舟形	64・25・17	1756年以降	不明	宝暦の飢饉の供養塔の可能性 伝承あり
i	来迎寺有無両縁菩提供養塔	八戸市朔日町24	八戸藩領八戸廻朔日町	板碑形	159・35・20	1760年4月8日	廿八日町一丁内(石碑の原位置)	宝暦の飢饉の供養塔の可能性
j	東円寺有無法界萬霊等供養塔	名川町斗賀字定平1	八戸藩領名久井通斗賀村	笠塔婆形	152・32・29	1756年7月16日	石塚助太郎	宝暦の飢饉の供養塔の可能性
k	観福寺(旧川守田)名号石	三戸町同心町字熊ノ林6-2	盛岡藩領三戸城下同心町	駒形	105・39・26	1757年11月13日	松尾與想治・松尾兼松	宝暦の飢饉の供養塔の可能性
l	観福寺(旧川守田)三界萬霊塔	三戸町同心町字熊ノ林6-2	盛岡藩領三戸城下同心町	駒形	111・39・30	1757年11月20日	松尾與想治・松尾兼松	宝暦の飢饉の供養塔の可能性
m	相坂共同墓地有無両縁供養塔	十和田市相坂	盛岡藩領五戸通大坂村	尖頭角柱形	165・46・43	1805年7月	丸屋平兵衛	天明の飢饉の23回忌の供養塔の可能性
n	浄円寺萬霊等供養塔	十和田市奥瀬字中通98	盛岡藩領五戸通奥瀬村	舟形	104・33・23	1806年2月2日	當村中(奥瀬村中)	天明の飢饉の23回忌の供養塔の可能性
o	浄円寺三界萬霊等供養塔	十和田市奥瀬字中通98	盛岡藩領五戸通奥瀬村	舟形	124・60・47	1816年2月15日	不明	天明の飢饉の33回忌の供養塔の可能性
p	太田有無両縁等供養塔	十和田市沢田字太田	盛岡藩領五戸通沢田村	丘状頭角柱形	93・35・36	1815年7月15日	太田村　久左衛門以下14名	天明の飢饉の33回忌の供養塔の可能性
q	小向念仏供養塔	南部町小向字古町96-1	盛岡藩領三戸通小向村	自然石	99・40・56	1784年12月17日	當村中(小向村中)	天明の飢饉の供養塔の可能性
r	長栄寺名号石	三戸町同心町字古間木平49	盛岡藩領三戸城下同心町	自然石	98・56・31	1801年6月20日	不明(矢羽場小左衛門？)	天明の飢饉の17回忌の供養塔の可能性
s	高雲寺三界萬霊塔	五戸町愛宕後24-1	盛岡藩領五戸通五戸村	尖頭角柱形	142・35・34	1838年	施主：金沢勘治郎 石工：佐間 勧進僧：高雲寺十七世桃悟	天保の飢饉の供養塔の可能性
t	泉龍寺三界萬霊等供養塔	川内町川内字川内90	盛岡藩領田名部通川内村	自然石	140・28・23	1796年6月25日	吉三	天明の飢饉の13回忌の供養塔の可能性
u	長弘寺三界萬霊等供養塔	大間町奥戸字奥戸157	盛岡藩領田名部通奥戸村	自然石	176・89・30	1804年10月吉日	世話人:黄金屋小次郎 導師：長弘寺龍叟	天明の飢饉の23回忌の供養塔の可能性
v	信願寺名号石	大間町奥戸字奥戸69-2	盛岡藩領田名部通奥戸村	自然石	238・211・30	1845年7月16日	不明(信願寺八世良徳謹書)	天保の飢饉の13回忌の供養塔の可能性

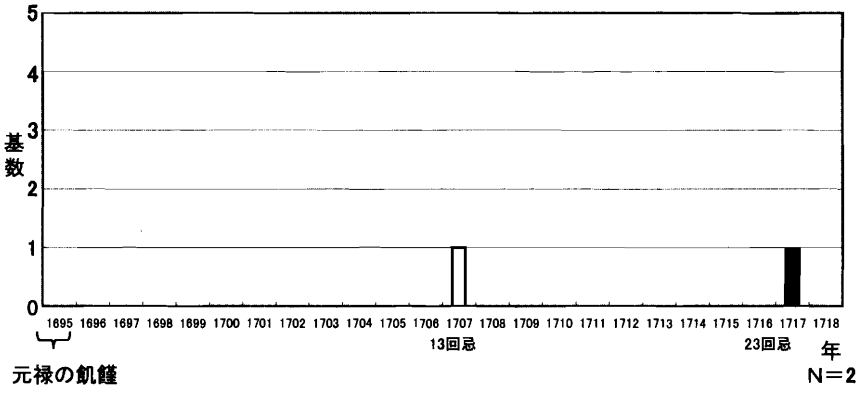


図4　津軽地方の元禄飢饉供養塔の造立年

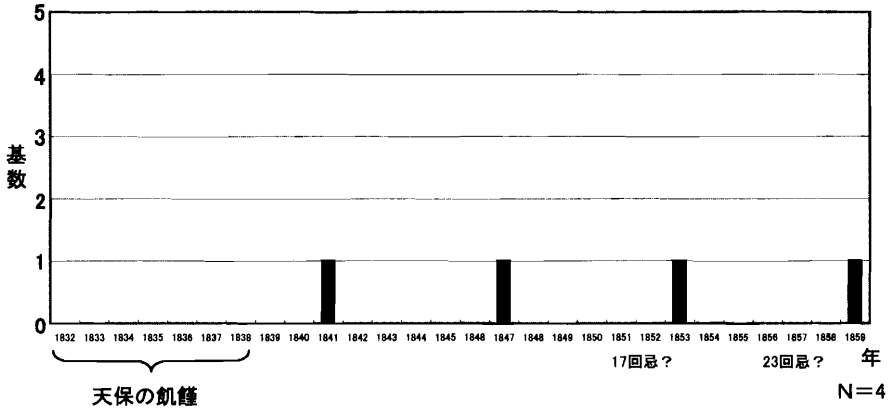


図6　津軽地方の天保飢饉供養塔の造立年

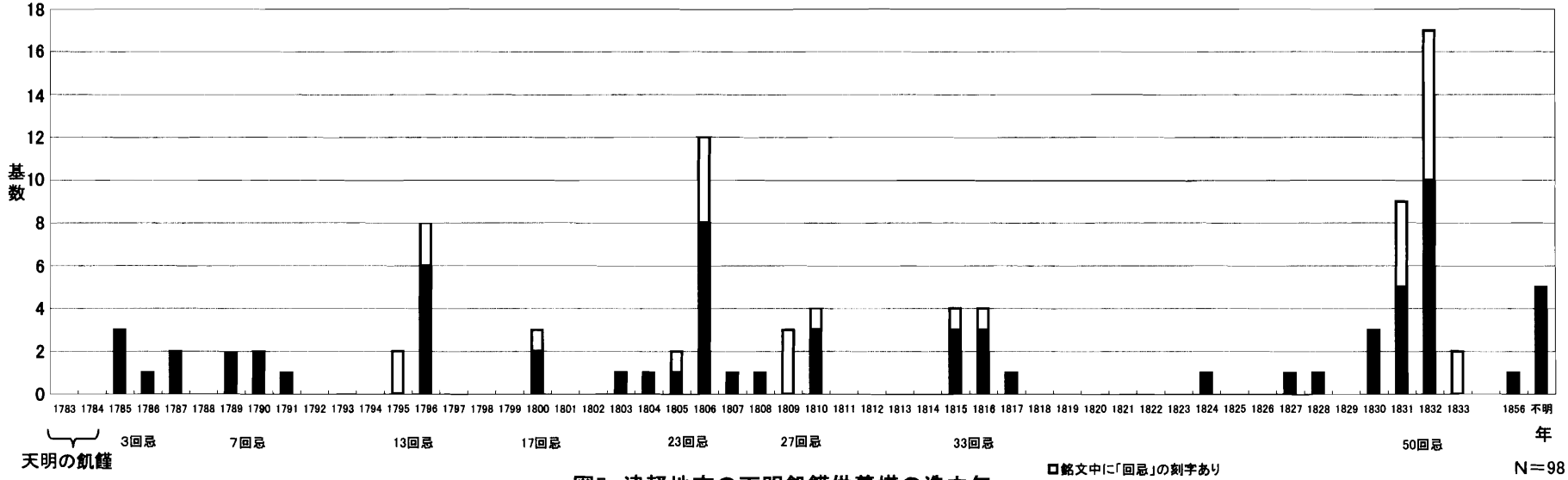


図5　津軽地方の天明飢饉供養塔の造立年

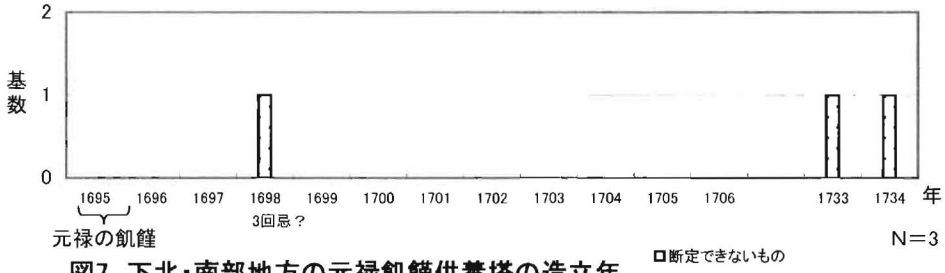


図7　下北・南部地方の元禄飢饉供養塔の造立年

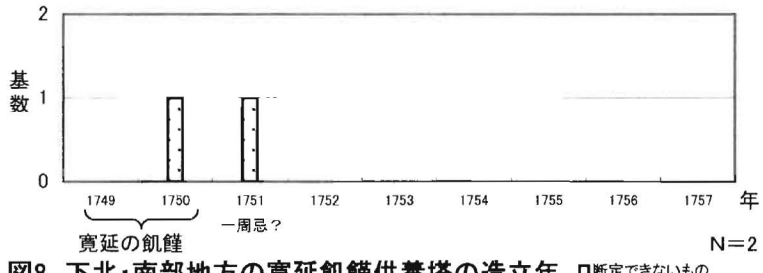


図8　下北・南部地方の寛延飢饉供養塔の造立年

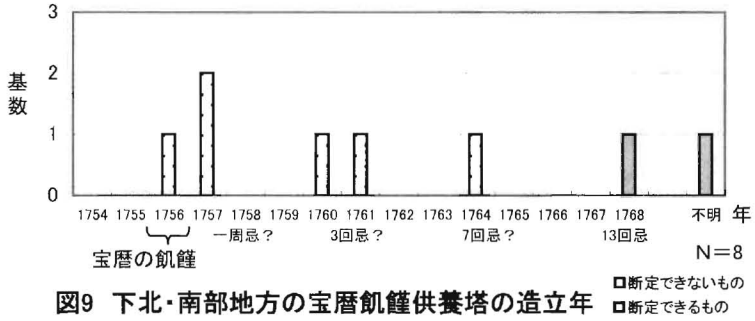


図9　下北・南部地方の宝暦飢饉供養塔の造立年

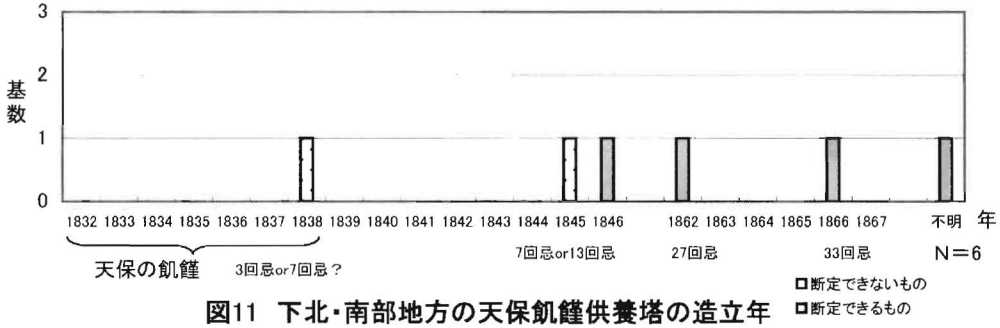


図11　下北・南部地方の天保飢饉供養塔の造立年

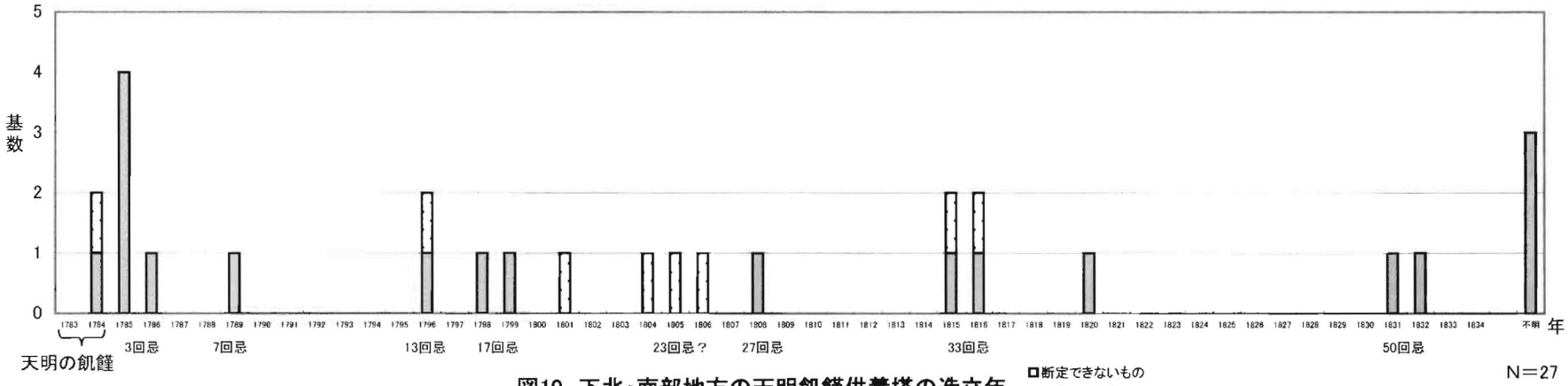
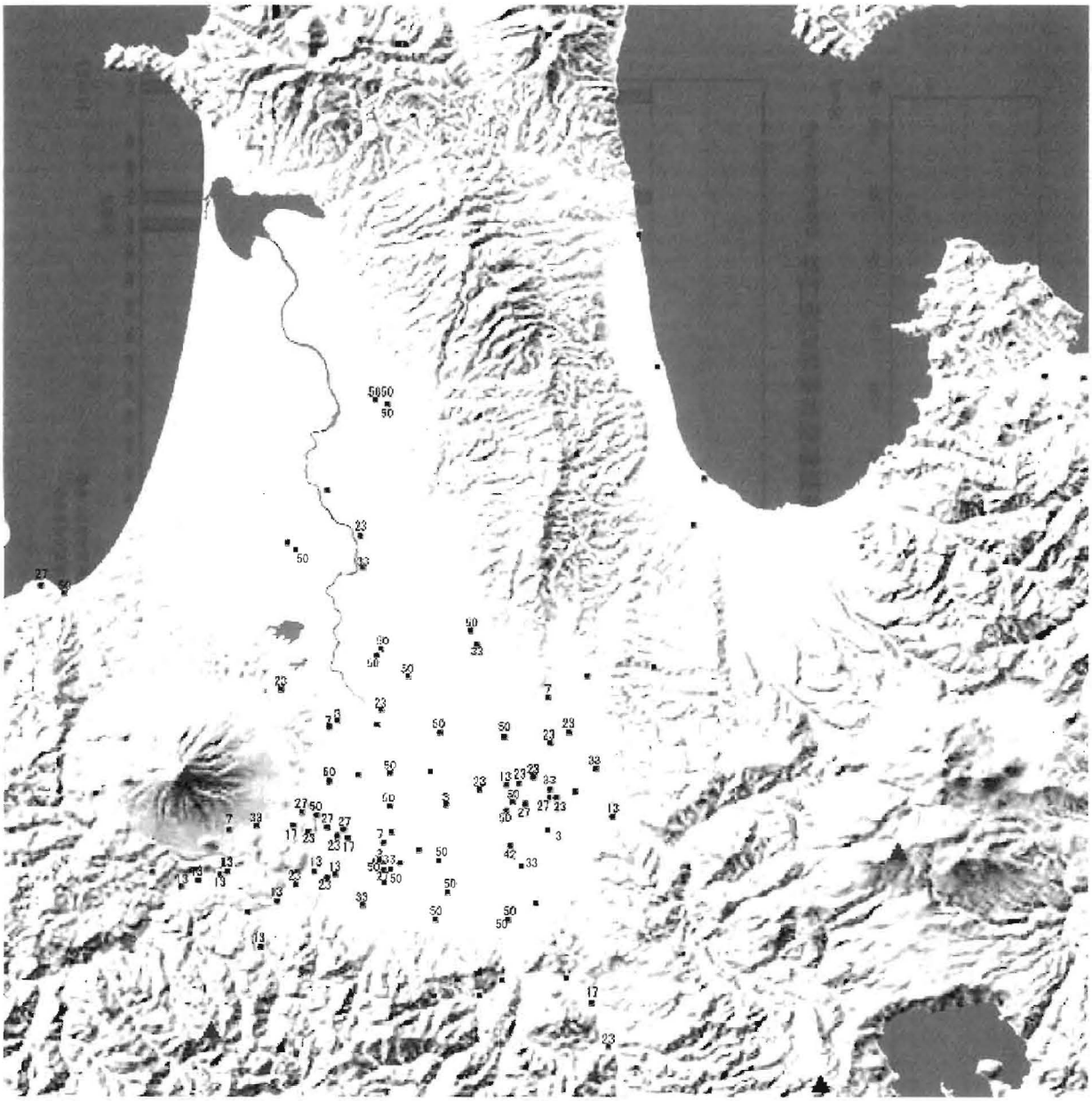
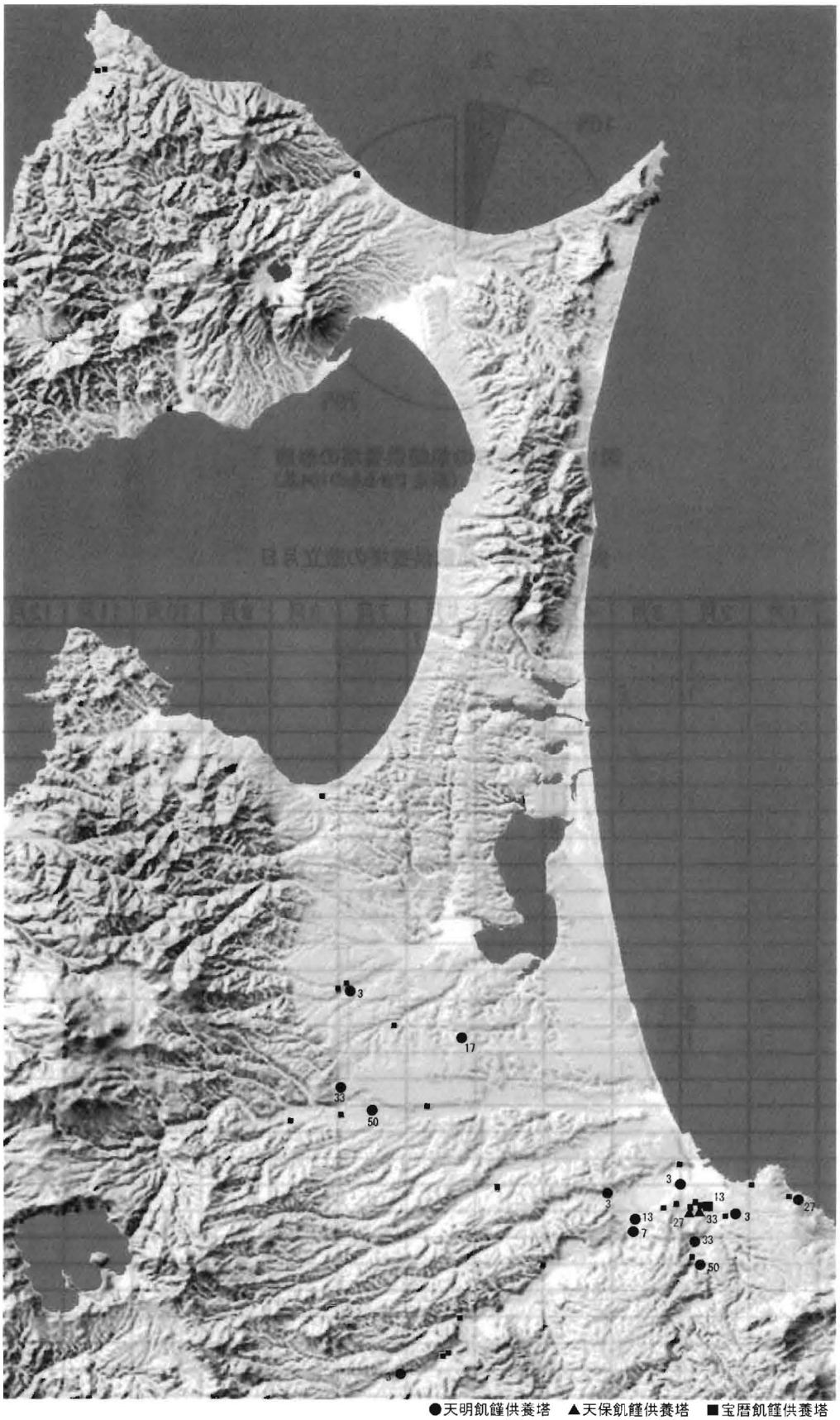


図10　下北・南部地方の天明飢饉供養塔の造立年



※数字は天明飢饉供養塔の造立回忌を表す
回忌にあたらない年に造立されたものや元禄・天保飢饉供養塔は「・」で表した

図12　津軽地方の飢饉供養塔の造立位置と造立年



●天明飢饉供養塔　▲天保飢饉供養塔　■宝暦飢饉供養塔
※数字はそれぞれの飢饉供養塔の造立回忌を表す
回忌にあたらない年に造立されたものや造立年が不明なもの、
飢饉供養塔の可能性のるものは「・」で表した

図 13　下北・南部地方の飢饉供養塔の造立位置と造立年

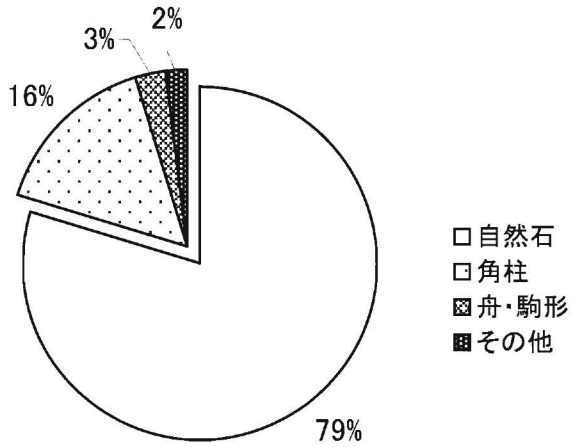


図14　津軽地方の飢饉供養塔の形態
（断定できるもの104基）

表５　津軽の飢饉供養塔の造立月日

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
1日						1			1				
2日		1										1	
3日		1	2										
4日				1									
5日				1									
6日						1							
7日		1	1	1			1						1
8日				8									
9日								1					
10日					1								
11日							1						
12日													
13日			2		1		1						
14日													
15日		3	3	2		1	1						
16日		1				1	1						
17日			1				1						
18日					1								
19日													
20日		1											
21日		1											
22日				1									
23日						1							
24日			1										
25日													
26日		1						1					
27日								1					
28日													
29日		1			1								
彼岸中日		1											
吉日			1	1			1	1					
不明		6	8	1	1		6	2			2	1	16
合計	0	18	19	16	5	5	13	6	1	0	2	2	17

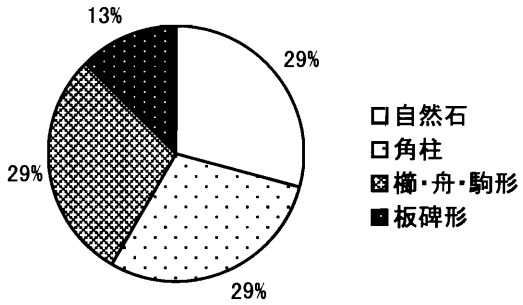


図15　下北・南部地方の飢饉供養塔の形態
（断定できるもの24基）

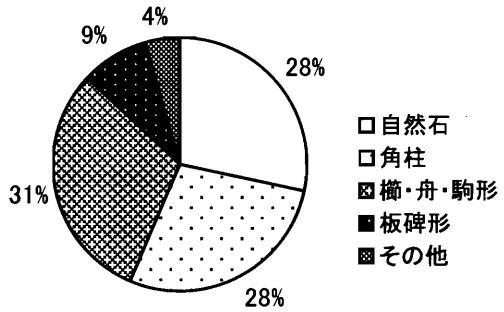


図16　下北・南部地方の飢饉供養塔の形態
（可能性があるものを含む46基）

表６　下北・南部地方の飢饉供養塔の造立月日

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
1日													
2日		(1)											
3日							(1)						
4日													
5日													
6日													
7日													
8日				(1)									
9日													
10日					1				1				
11日												1	
12日													
13日							(1)				(1)		1
14日		1											
15日		1 (1)					2 (1)						
16日			(1)				1 (2)						1
17日												(1)	
18日													
19日		1											
20日		1				(1)					(1)		
21日													
22日													
23日				(1)									
24日	(1)												
25日					1	(1)				1			
26日													
27日													
28日							(1)						
29日													
吉日		1			1					(1)			
春彼岸中													1
不明			2				(1)			(1)			5 (2)
合計	(1)	5 (2)	2 (1)	(2)	3	(2)	3 (7)	0	1	1 (2)	(2)	1 (1)	8 (2)

カッコ内は断定できないものの基数

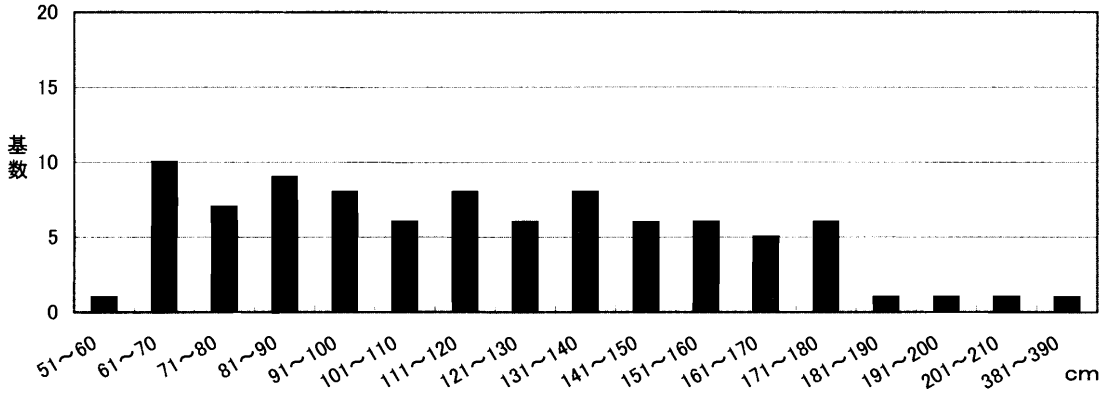


図17 津軽地方の飢饉供養塔の高さ(本来の台石を含む) N＝90

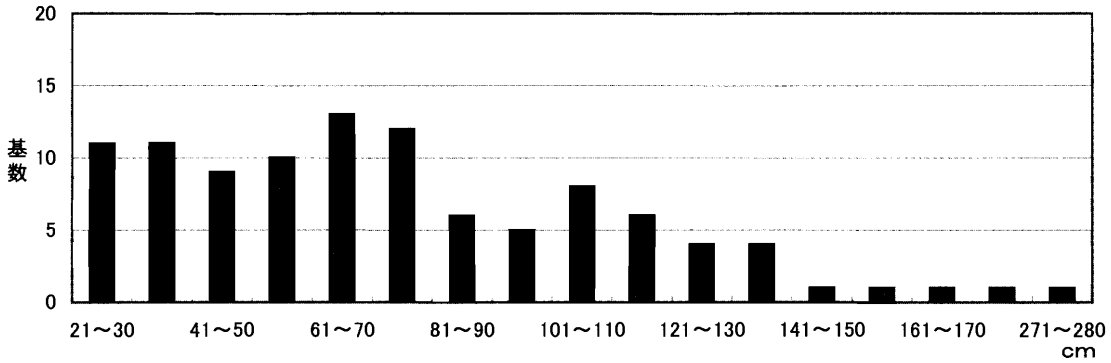


図18 津軽地方の飢饉供養塔の幅 N＝104

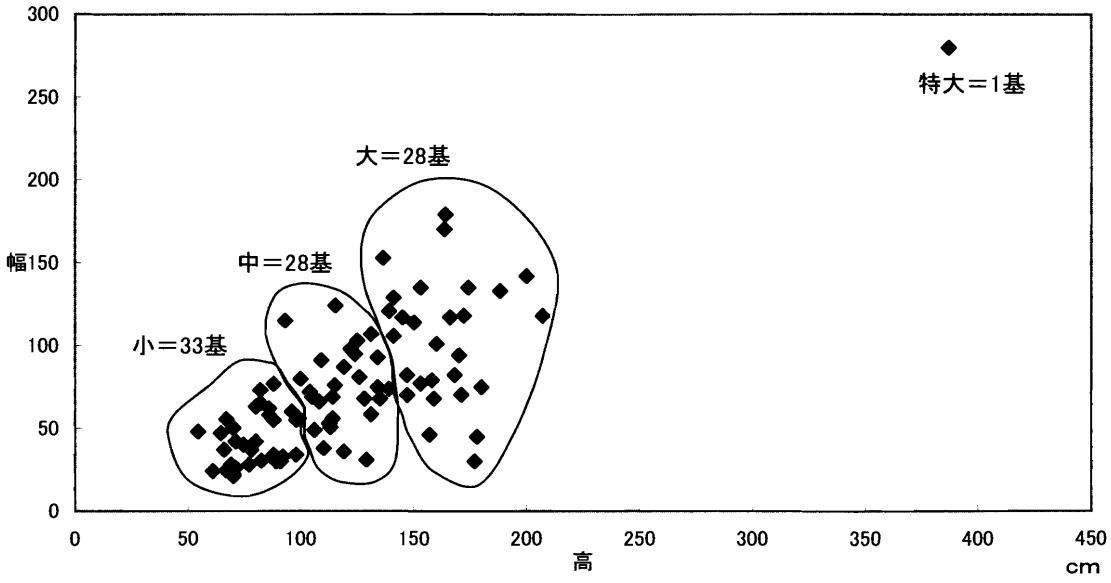


図19 津軽地方の飢饉供養塔の大きさ N＝90

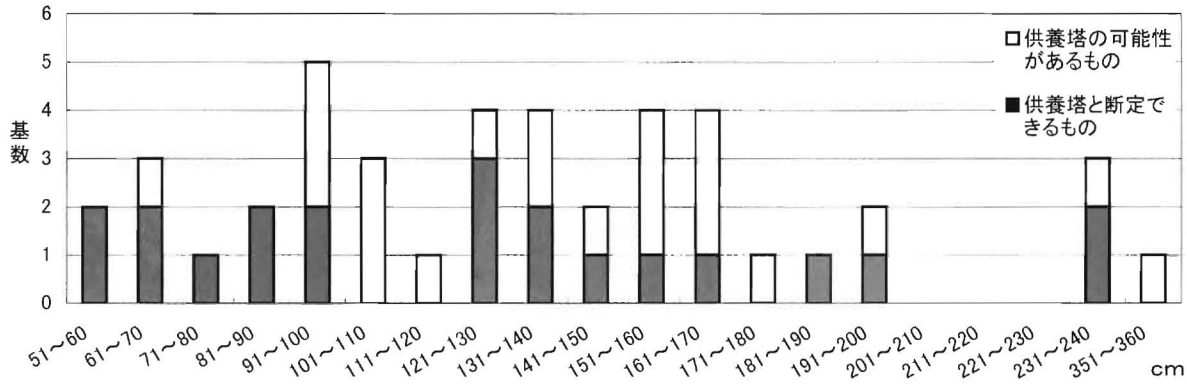


図20　下北・南部地方の飢饉供養塔の高さ(本来の台石を含む)　　N＝43

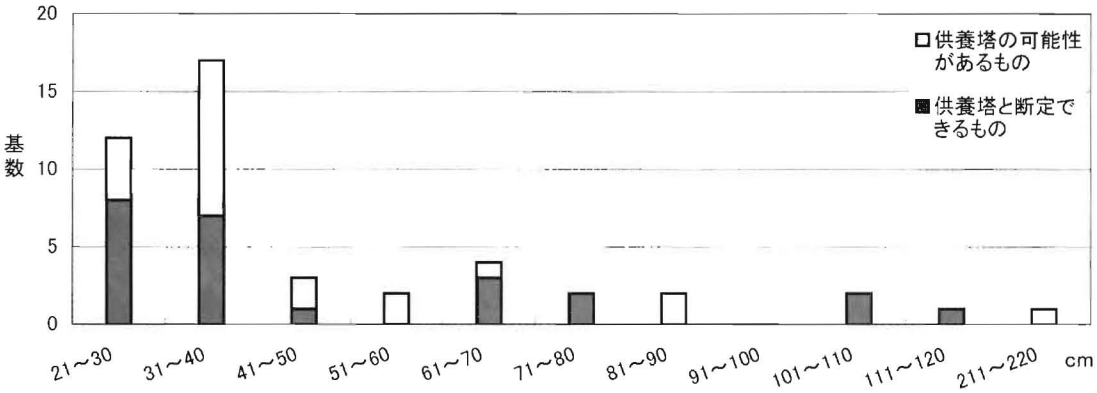


図21　下北・南部地方の飢饉供養塔の幅　　N＝46

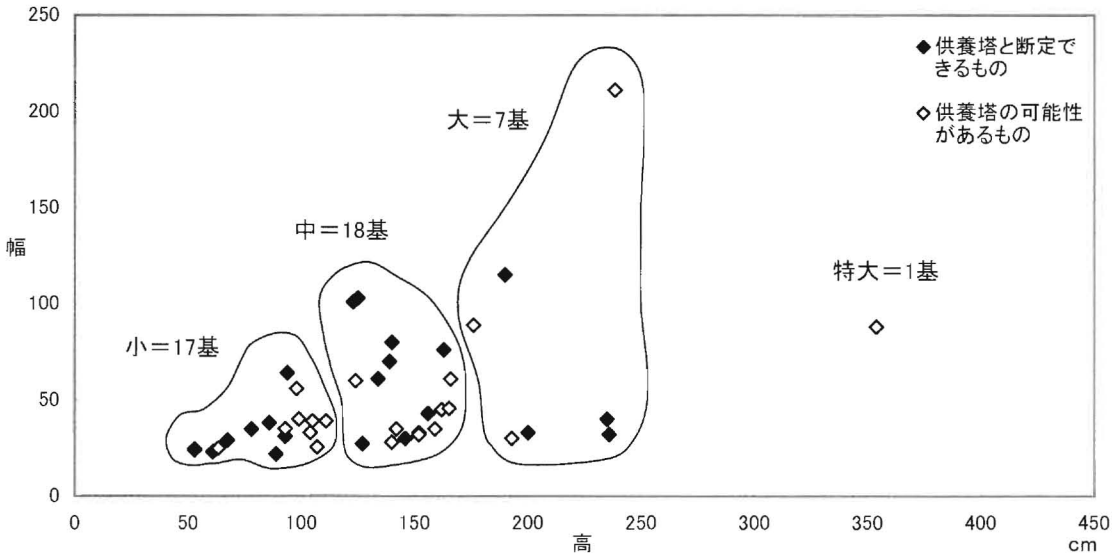
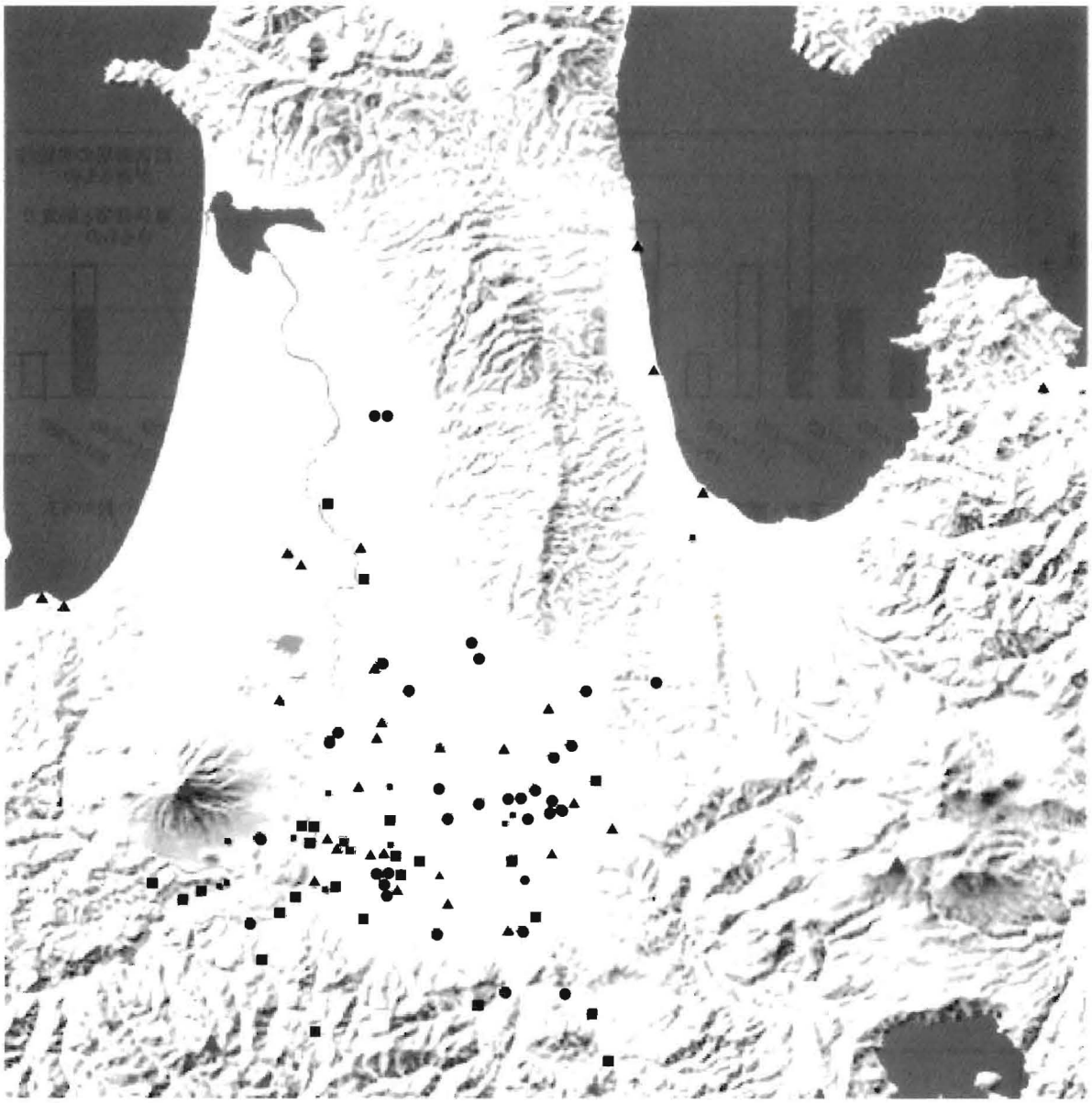
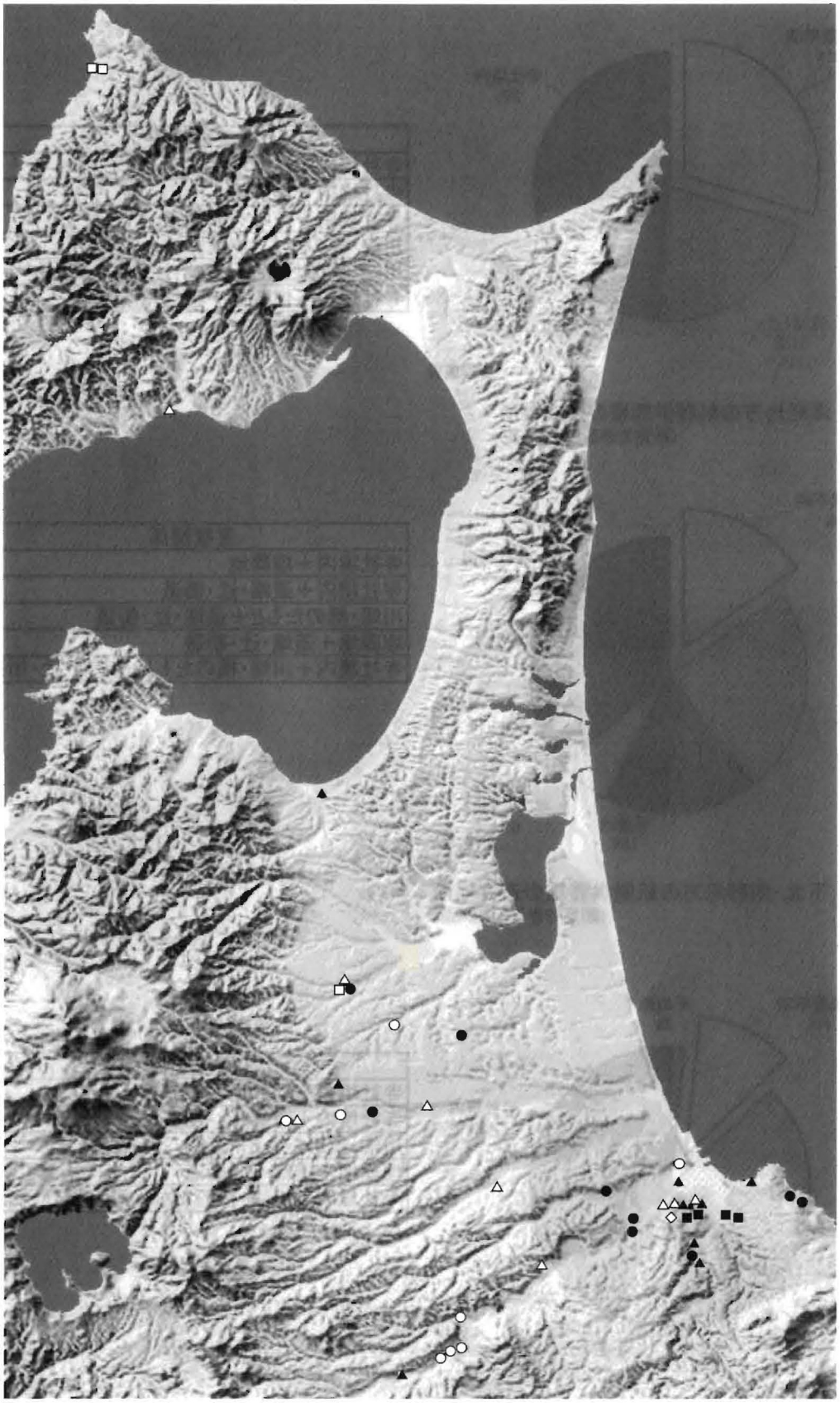


図22　下北・南部地方の飢饉供養塔の大きさ　　N＝43



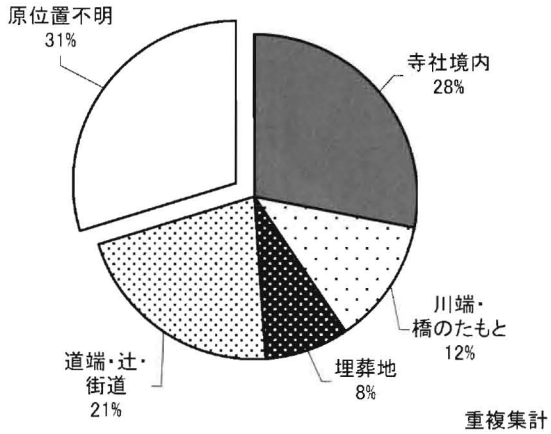
法量：特大＝◆　大＝■　中＝▲　小＝●
※高さが計測できないものは「・」で表した

図23　津軽地方の飢饉供養塔の造立位置と大きさ



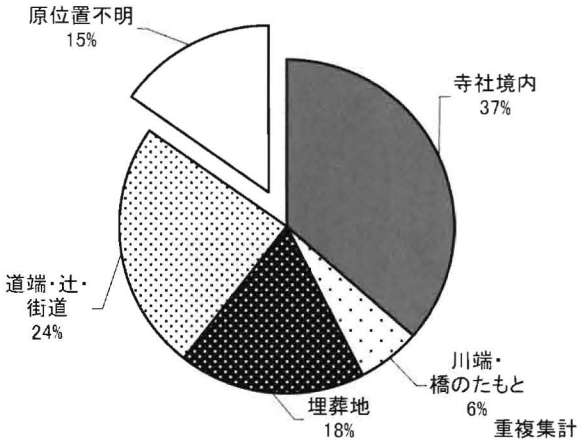
法量：特大＝◇（可能性のあるもの）大＝■（断定できるもの）中＝▲（断定できるもの）小＝●（断定できるもの）
□（可能性のあるもの）　△（可能性のあるもの）　○（可能性のあるもの）
※高さが計測できないものは「・」で表した

図 24　下北・南部地方の飢饉供養塔の造立位置と大きさ



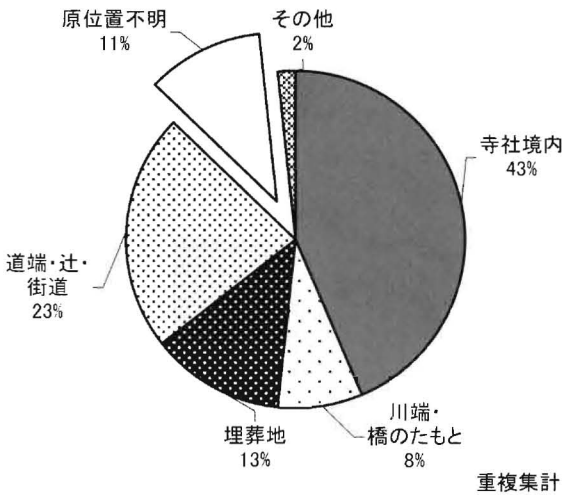
重複関係	基数
寺社境内＋川端・橋のたもと	1
寺社境内＋埋葬地	3
寺社境内＋道端・辻・街道	3
川端・橋のたもと＋埋葬地	2
川端・橋のたもと＋道端・辻・街道	6
寺社境内＋埋葬地＋道端・辻・街道	1

図25　津軽地方の飢饉供養塔の造立場所
（断定できるもの104基）



重複関係	基数
寺社境内＋埋葬地	3
寺社境内＋道端・辻・街道	2
川端・橋のたもと＋道端・辻・街道	1
埋葬地＋道端・辻・街道	1
寺社境内＋川端・橋のたもと＋道端・辻・街道	1

図26　下北・南部地方の飢饉供養塔の造立場所
（断定できるもの24基）



重複関係	基数
寺社境内＋埋葬地	5
寺社境内＋道端・辻・街道	4
川端・橋のたもと＋道端・辻・街道	3
埋葬地＋道端・辻・街道	1
寺社境内＋川端・橋のたもと＋道端・辻・街道	2

図27　下北・南部地方の飢饉供養塔の造立場所
（可能性があるものを含む46基）

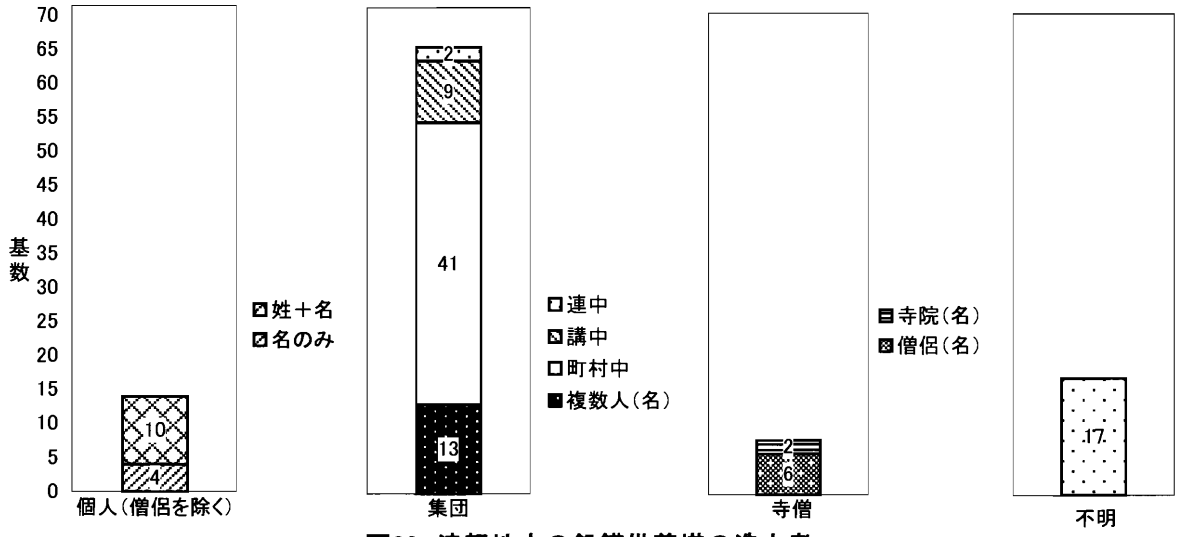


図28　津軽地方の飢饉供養塔の造立者
（断定できるもの104基）

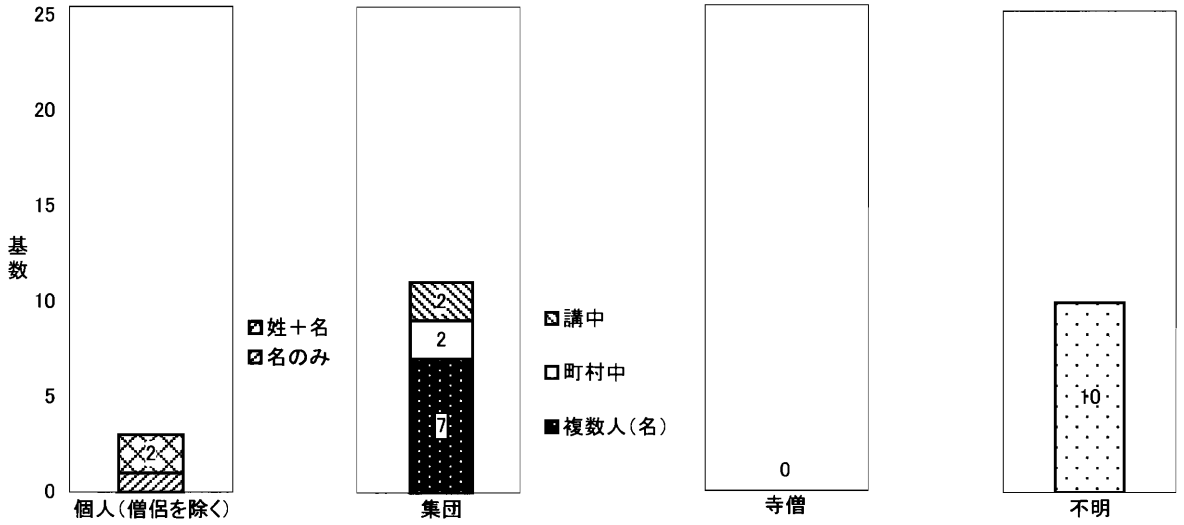


図29　下北・南部地方の飢饉供養塔の造立者
（断定できるもの24基）

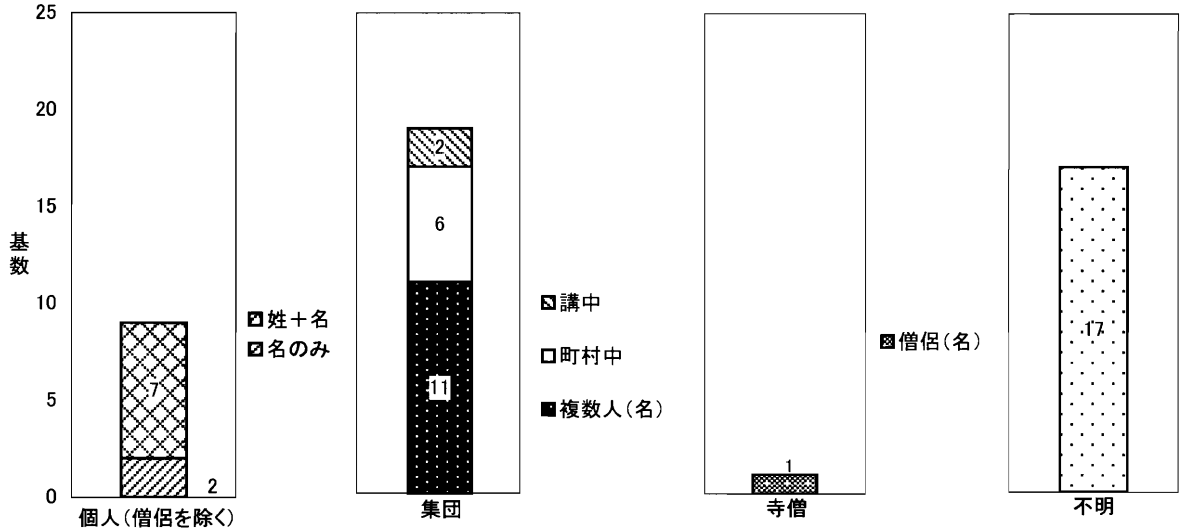


図30　下北・南部地方の飢饉供養塔の造立者
（可能性があるものを含む46基）

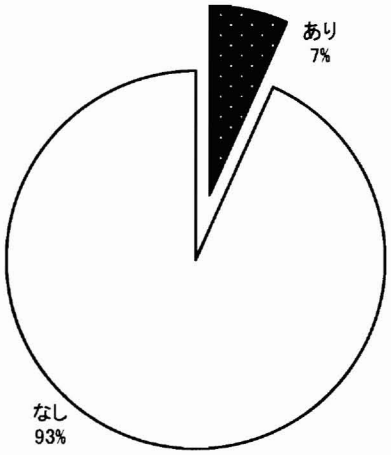


図31　津軽地方の供養塔造立に関わる勧進僧の有無（断定できるもの104基）

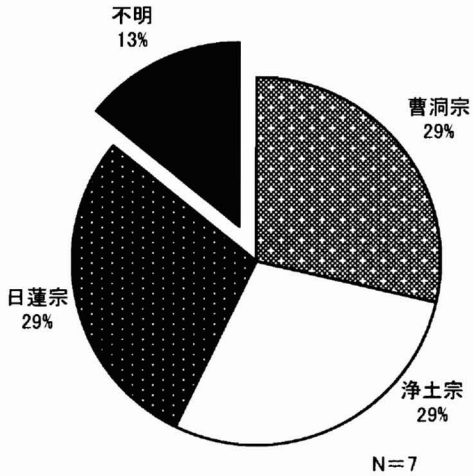


図34　津軽地方の供養塔造立に関わる勧進僧の宗派（断定できるもの104基）

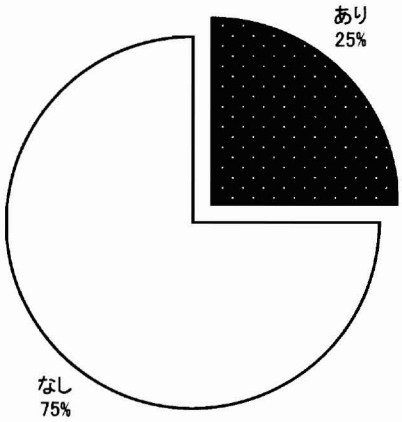


図32　下北・南部地方の供養塔造立に関わる勧進僧の有無（断定できるもの24基）

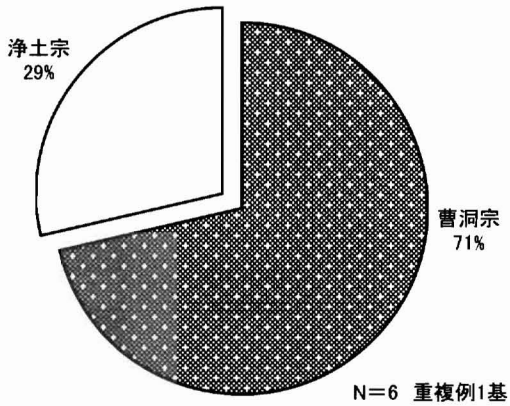


図35　下北・南部地方の供養塔造立に関わる勧進僧の宗派（断定できるもの24基）

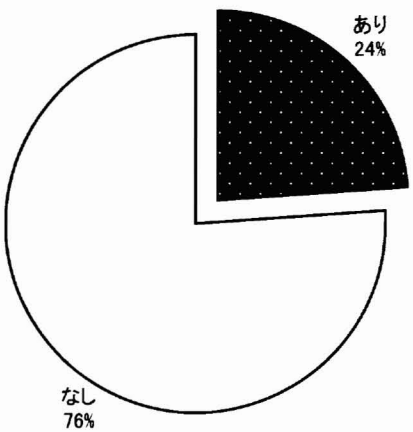


図33　下北・南部地方の供養塔造立に関わる勧進僧の有無（可能性があるものを含む46基）

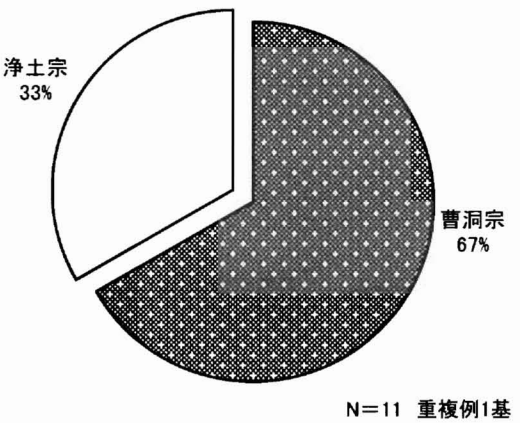


図36　下北・南部地方の供養塔造立に関わる勧進僧の宗派（可能性があるものを含む46基）

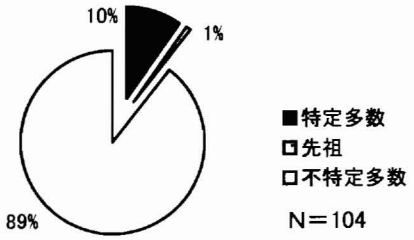


図37　津軽地方の飢饉供養塔の対象

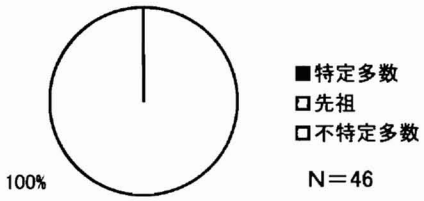


図38　下北・南部地方の飢饉供養塔の対象

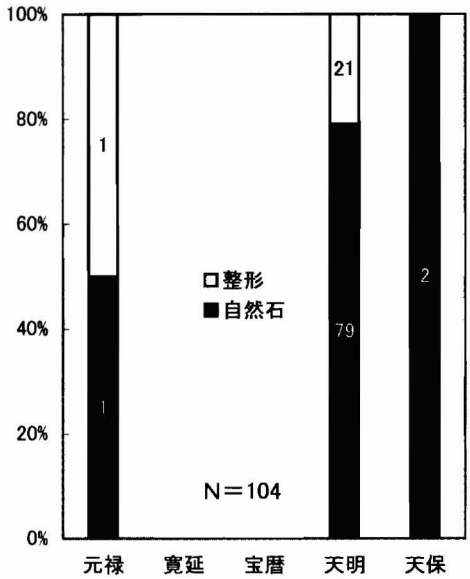


図39　津軽地方の飢饉と供養塔の形態

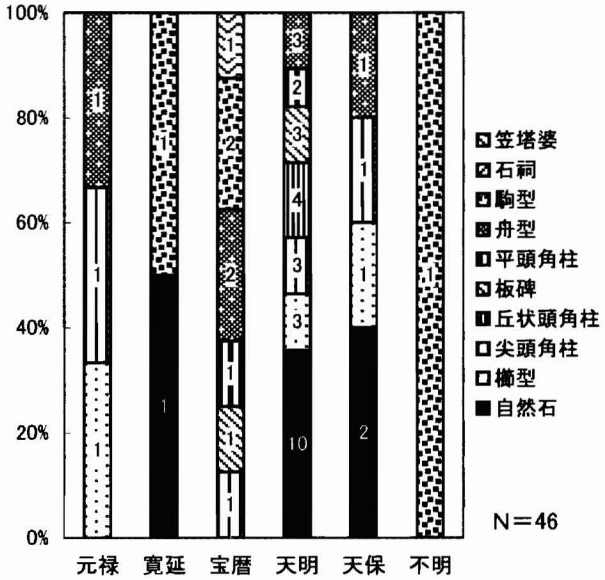


図40　下北・南部地方の飢饉と供養塔の形態

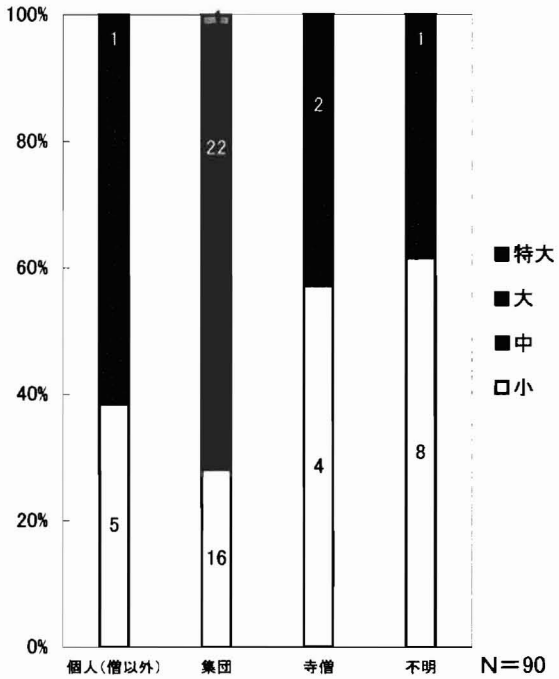


図41　津軽地方の飢饉供養塔の造立者と大きさ

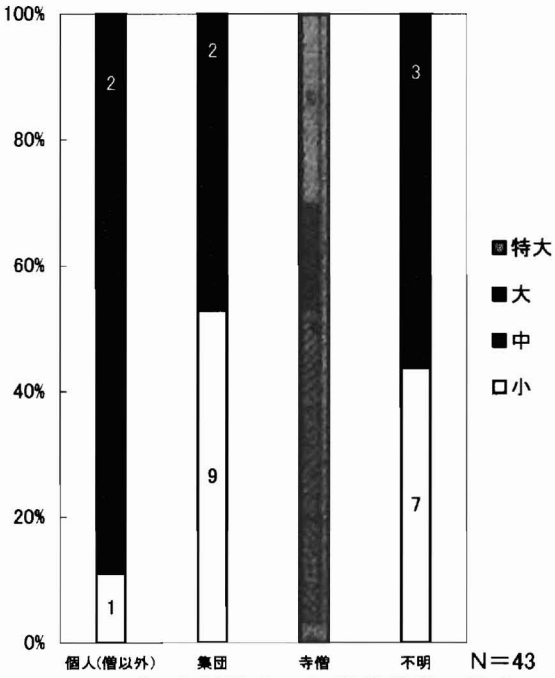


図42　下北・南部地方の飢饉供養塔の造立者と大きさ

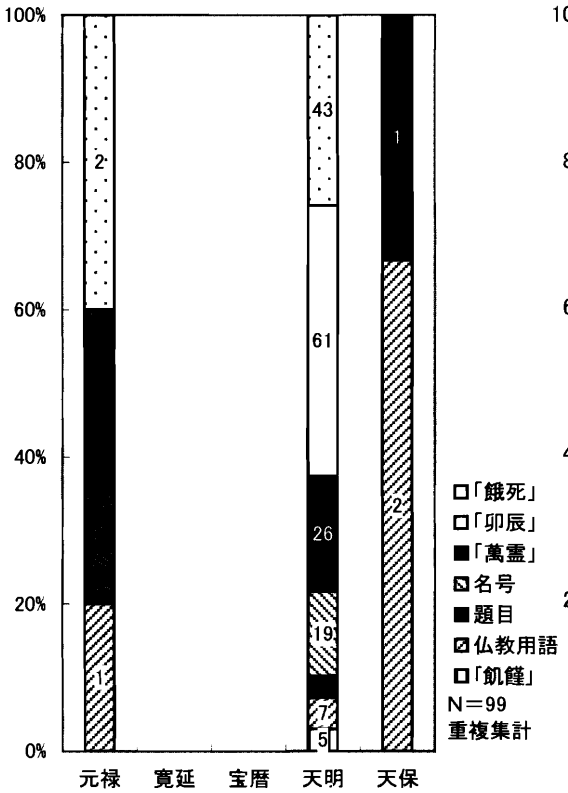


図43 津軽地方の飢饉供養塔の銘文

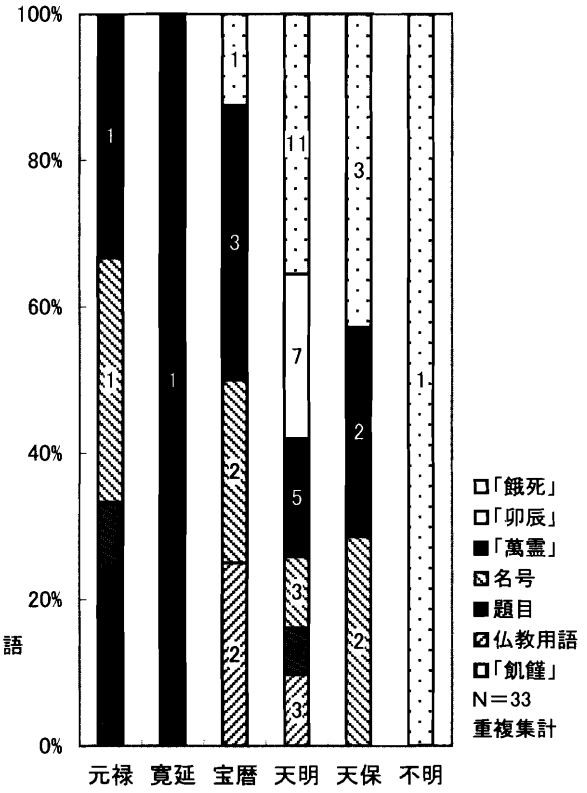


図44 下北・南部地方の飢饉供養塔の銘文

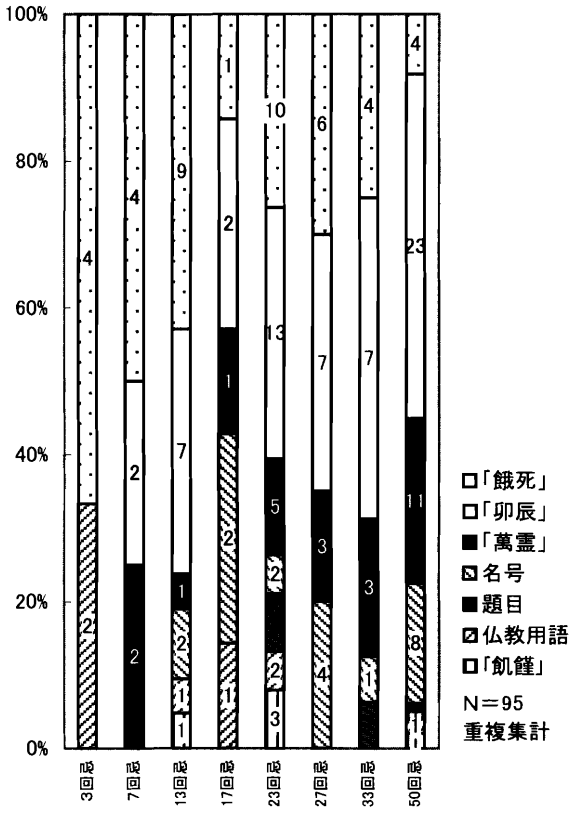


図45 津軽地方の天明飢饉供養塔の銘文

津軽地方

重複関係	基数
餓死	10
餓死＋萬霊	2
餓死＋その他	3
卯辰	21
卯辰＋名号	7
卯辰＋萬霊	5
卯辰＋その他	1
餓死＋卯辰	18
餓死＋卯辰＋	10
萬霊	2
名号	3

下北・南部地方

重複関係	基数
餓死	5
餓死＋名号	3
餓死＋萬霊	3
餓死＋卯辰	2
餓死＋その他	2
卯辰	4
卯辰＋萬霊	1
萬霊	6
名号	3